

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C (R 4 1 0 A、R 3 2又はR407C) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 擬音装置</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>② 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>③ 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>④ 樹の適用 別紙樹表による。</p>																																																																																																			
<p>① 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="252 241 786 346"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">温度 (DB)</th> <th colspan="2">湿度 (RH)</th> <th colspan="2">温度 (DB)</th> <th colspan="2">湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>0.6℃</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>② 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ○しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ○しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ○する ※しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大圧認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>11 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚は、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (110ACドレン (A) 相当品) ・ 耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。)</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>12 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空調機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減油油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ菌菌殺剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>			外 気				屋 内						温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)		湿度 (RH)		夏 期	0.6℃	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	℃	%	%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し (1) 防煙ダンパーは 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多温節排の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠ぺい部ダクト (仕様はh・(イ) ・Kとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p> <p>1 ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>① 小使器具節水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小使器具 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>② バリアフリー対応</p> <p>・小使器具 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック 止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>③ 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>⑦ 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ・設けない</p> <p>⑧ 掃除用</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>⑨ 排水器具用ゴム継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>① 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1" data-bbox="1484 241 2181 462"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3048 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ガブワ) ※拡張) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用網を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>② 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>③ 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>5 量水器柵</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>⑥ 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>⑦ 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>① 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1" data-bbox="1484 1470 2181 1680"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用/カパ球 抄装鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部は45度で行う。</p>	施工箇所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	施工箇所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)	その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所	その他の部分	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用/カパ球 抄装鋼管	地中埋設部	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>① 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>4 ガス瞬間沸湯器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>① 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-V S ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-V S ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>① 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報連断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編 1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は熔融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は熔融を含む)</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>第5条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第6条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。</p> <p>第7条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第8条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>第9条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第10条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>
		外 気				屋 内																																																																																																	
		温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)		湿度 (RH)																																																																																															
夏 期	0.6℃	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	℃	%																																																																																														
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	℃	%	%																																																																																														
施工箇所	管 種 別																																																																																																						
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																																																						
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																																						
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																																																						
地中埋設部 (水道直結部分)	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																																						
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																																						
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																																																						
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																						
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																						
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																						
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																																						
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																																						
湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																																						
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																																																						
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																																						
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																						
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																						
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																						
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																																						
施工箇所	管 種 別																																																																																																						
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ※SGP (白) ・																																																																																																						
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																																																						
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																						
その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																						
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所																																																																																																						
その他の部分	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用/カパ球 抄装鋼管																																																																																																						
地中埋設部	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																						
共通	※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																						
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																						
その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																						

環境配慮(グリーン) 改修工事	① アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修標準」という)及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(令和3年3月 厚生労働省・環境省)による。
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う(下表による)
	3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う(測定名称及び測定点は下表による)

材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象
※ アスベスト 6 種類(アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト)

調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群(1481-1.2.3.4)「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
い*1	い*2	い*3			
○	○	-	処理作業室内	※各2点・各3点	
○	○	-	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
-	-	-	処理作業室内	各2点	
○	-	-	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	-	-	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
○	○	-	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	-	処理作業室内	※各2点(い*3は1点)	
○	○	-	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
-	-	-	処理作業室内	各2点(い*3は1点)	
-	-	-	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
-	-	-	処理作業室内	各2点(い*3は1点)	
-	-	-	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズル径の直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトソーリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成(記録する項目)
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置(測定高さとともに図面上に記載)
エ サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 7x7x7含有吹き付け材の撤去(レベル1)	アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹き付けアスベストの仕様
5 7x7x7含有保温材等の撤去(レベル2)	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様
6 7x7x7含有成形板類の撤去(レベル3)	1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
		※ 図示

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
		※ 図示

材料名(製品名)	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示

材料名	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲
・設備機器ダクト接合部(石綿含有パッキン組込)		※ 図示
・石綿含有保温材付配管		※ 図示
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示
		※ 図示

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

<参考>石綿使用有無の事前調査フロー

```

graph TD
    A["(1) 設計図書による調査  
① 施工年による調査  
② 使用建築材料による調査"] --> B{可能性あり・不明}
    A --> C{可能性なし}
    B --> D["(2) 現場目視による調査  
目視調査(建材の確認)"]
    D --> E{可能性あり・不明}
    D --> F{可能性なし}
    E --> G{分析を実施しない場合}
    E --> H{分析を実施する場合}
    G --> I{石綿含有とみなす}
    I --> J{石綿使用あり・届出要件確認・届出}
    H --> K["(3) 分析調査による判定  
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"]
    K --> L{石綿含有0.1%を超えていると判断}
    L --> J
    K --> M{石綿含有0.1%以下と判断}
    M --> N{石綿使用なし}
  
```

<参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去(レベル2)
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生(負圧不要)、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹き付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

<作業フローチャート>

```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[工事計画・要領書の作成・届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
外側から見やすい位置に掲示する。]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[周辺の養生  
飛散域以外に開口部もシート等で養生する。]
    E --> F[粉じん飛散抑制剤の散布・浸透]
    F --> G[原形のまま取り外し  
破損した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。]
    G --> H[取り残しがないことの確認]
    H --> I[除去面に粉じん飛散防止処理剤散布]
    I --> J[養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布]
    J --> K[養生の撤去]
    K --> L[最終清掃]
    L --> M[作業記録]
    M --> N[所管行政の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分]
  
```

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】(レベル3)
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

<作業フローチャート>

```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[作業計画の作成・作業の届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
所管行政の指導がある場合]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[石綿含有部分以外の部分で切断  
参考図のとおり切断する。]
    E --> F[プラスチックシートまたは袋で二重梱包]
    F --> G[最終清掃]
    G --> H[作業記録]
    H --> I[切断部分の収集・運搬]
    I --> J[最終処分]
  
```

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法

参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】(レベル2)
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

<作業フローチャート>

```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[工事計画・要領書の作成・届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
外側から見やすい位置に掲示する。]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[周辺の養生  
開口部等をシート等で養生する。]
    E --> F[配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生  
配管エルボ部を温らしたウエス等で湿潤化]
    F --> G[石綿含有部分以外の部分で切断  
参考図のとおり切断する。]
    G --> H[薬液で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包]
    H --> I[最終清掃]
    I --> J[作業記録]
    J --> K[切断部分の収集・運搬]
    K --> L[最終処分  
※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。]
  
```

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

衛生設備機器表

Table with columns: 記号, 機器名称, 仕様, 電動機 (出力, 相, 電圧, 台数), 設置場所, 備考. Includes items like 受水槽, 自動給水ポンプユニット, 緊急遮断弁装置, etc.

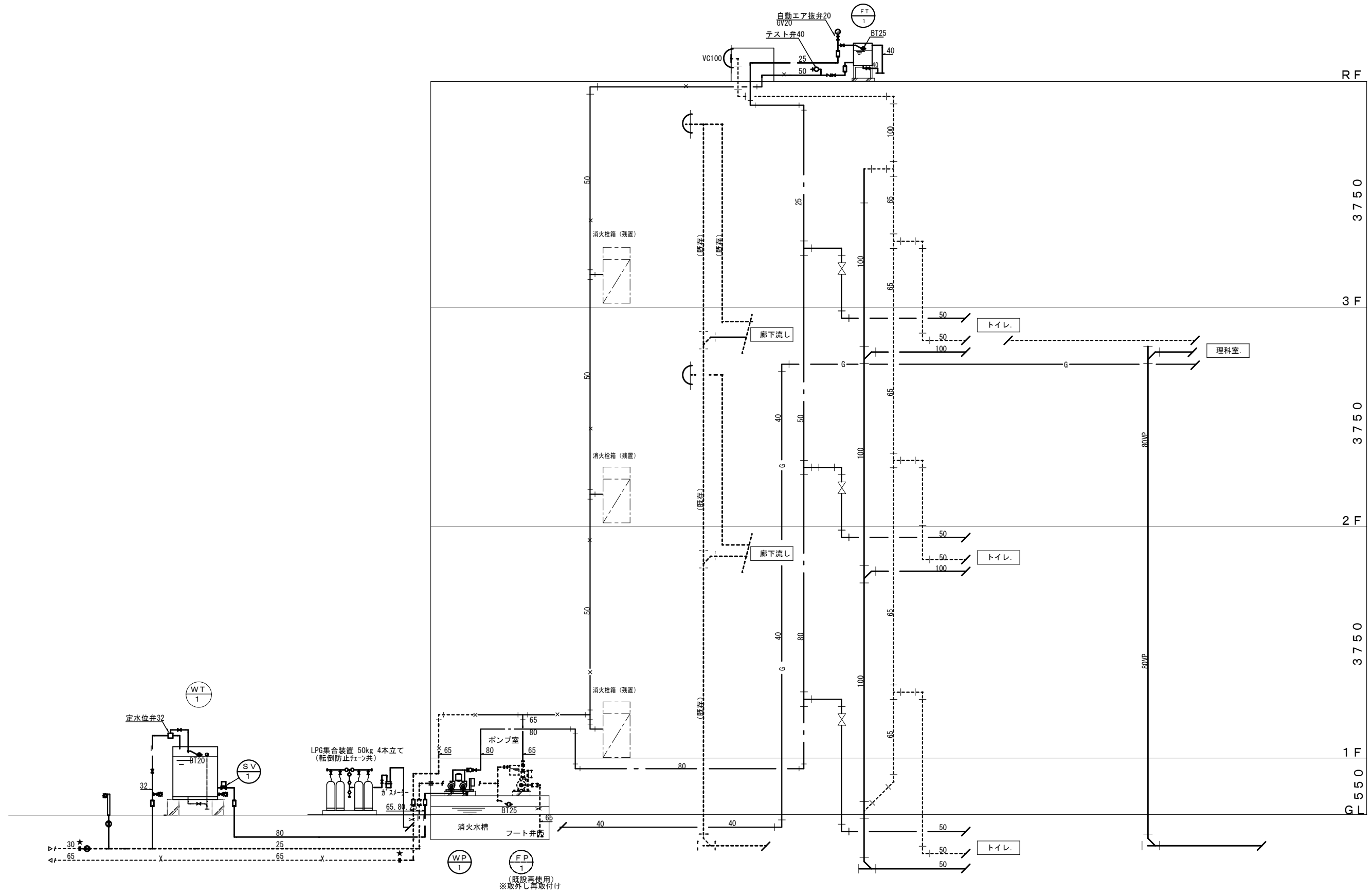
Table with columns: 記号, 機器名称, 仕様, 電動機 (出力, 相, 電圧, 台数), 設置場所, 備考. Includes items like 電気温水器, 排水中継ポンプユニット, etc.

衛生器具表


Table with columns: 器具名称, 参考品番, 付属品他, 合計, 1階 (男女トイレ, etc.), 2階, 3階, 特別教室棟, その他, 備考.

凡例

Table with columns: 記号, 名称, 摘要, 備考. Lists various pipe types and symbols like 給水管, 汚水管, 通気管, etc.



変更年月日	
作成日	

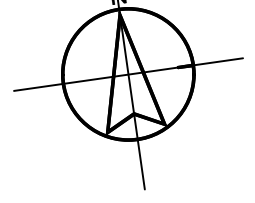

ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD.
 一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

承認	設計	製図	照合

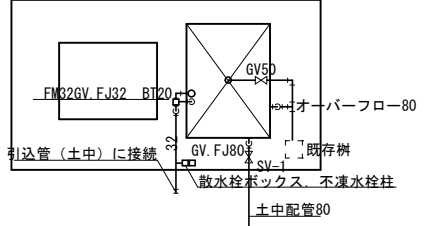
工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)
図面名称	給排水衛生設備 系統図(改修後)

縮尺	
作成日	令和6年1月31日

改修後



注記
水槽周り配管は凍結防止ヒーターの設置



受水槽周り配管図 S: 1/100

既存単独処理浄化槽5.0人槽 汚泥引抜消毒、底部穴あけ、砂埋、閉塞

割込み汚水樹 2.00φ900H
新設浄化槽制御盤等の位置は監督員と協議のうえ設置位置を決定する。
制御盤 1φ-100V1150w
新設浄化槽 BOD20PPm25人槽 5.0m3
割込み汚水樹 2.00φ900H

既存排水管 1.25

既存排水管 1.50

A s 舗装

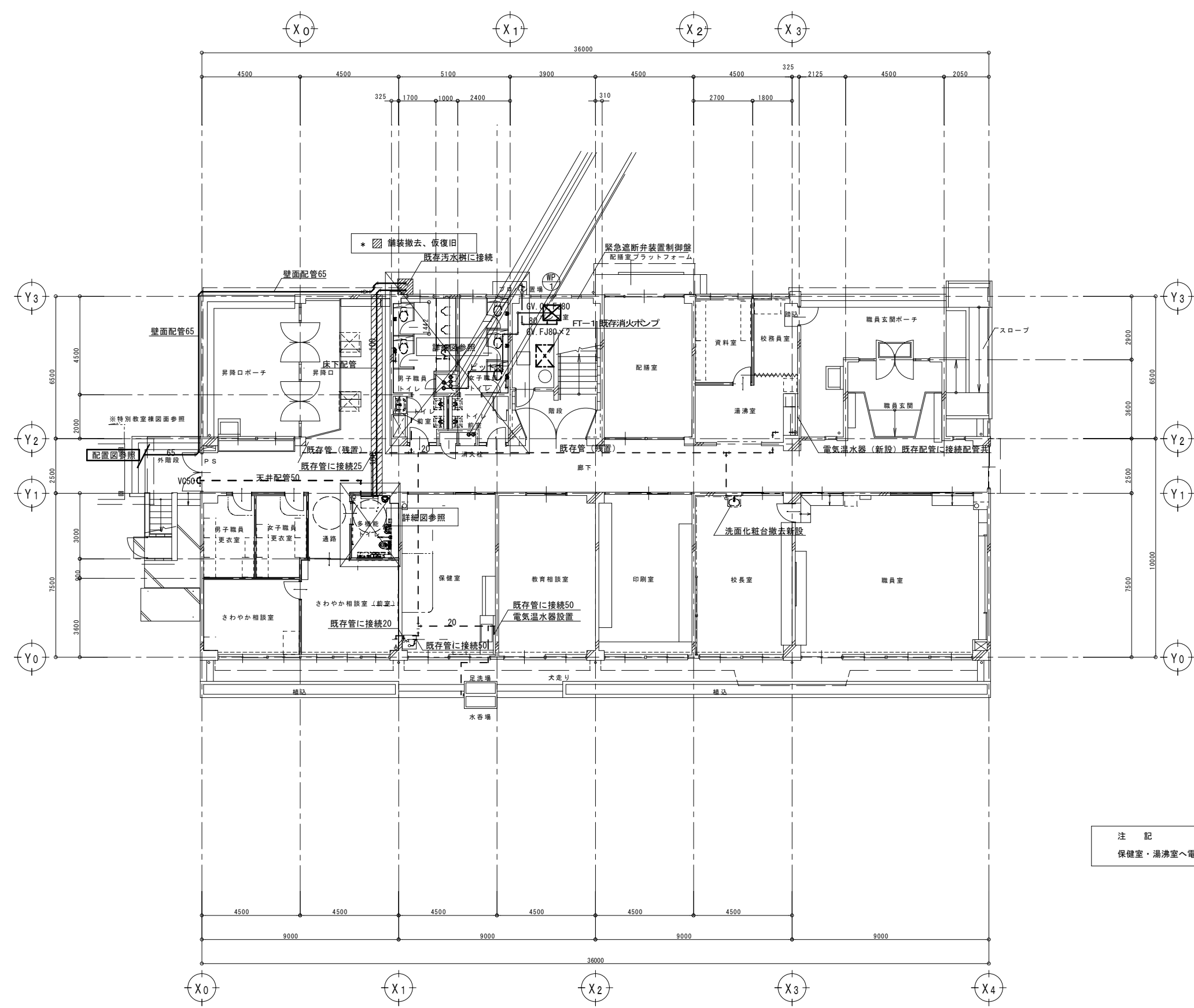
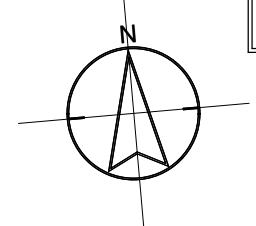
WT 1
FRP製受水槽撤去/鋼板製受水槽新設

地下オイルタンク
清掃消毒後砂埋、閉塞

既存合併浄化槽10人槽
汚泥引抜消毒、底部穴あけ、砂埋、閉塞

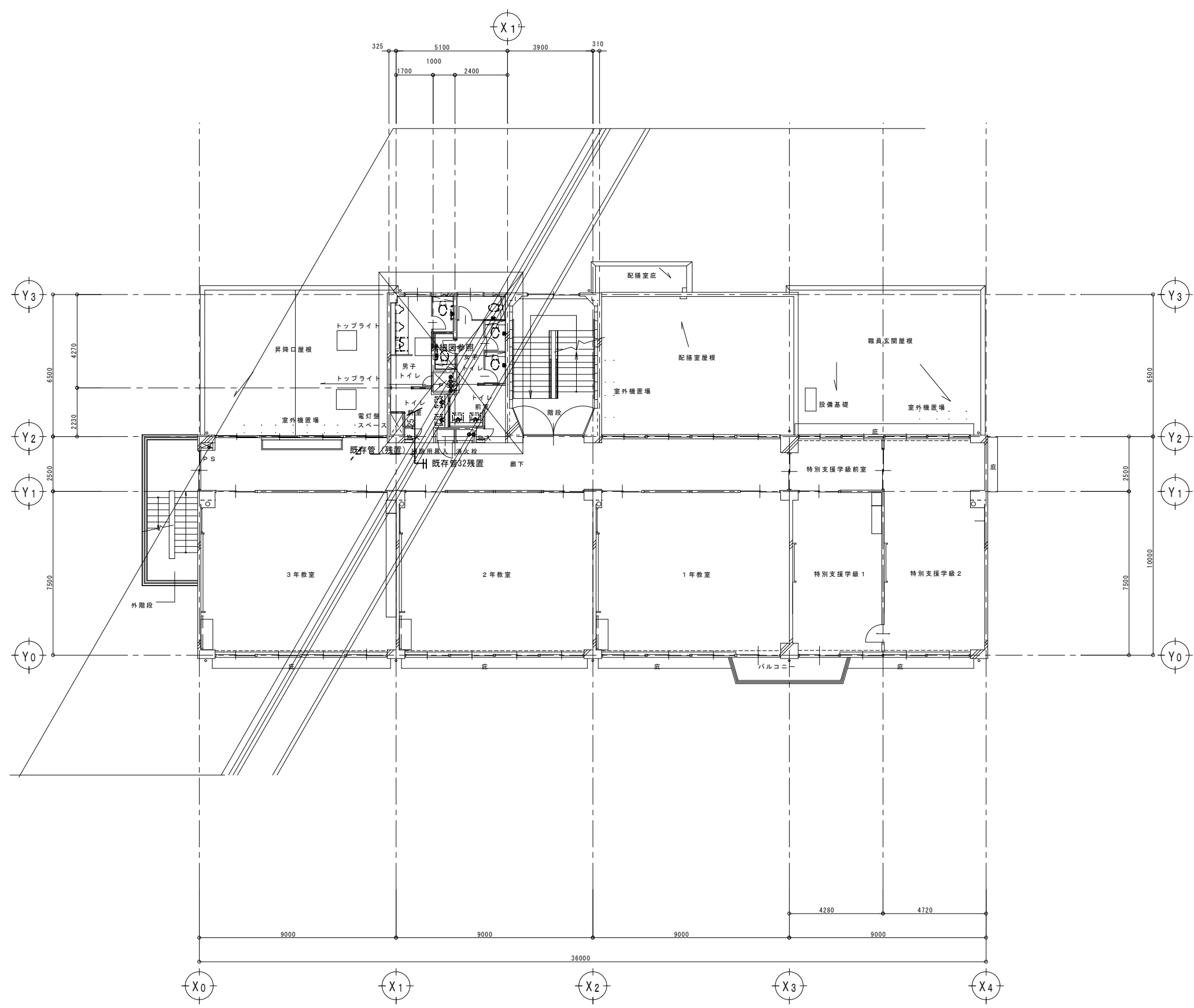
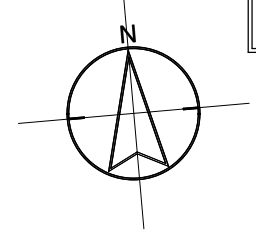
* 舗装撤去、仮復旧範囲を示す
※アスファルト舗装 耐圧 t 2.5 仕様

新設浄化槽計算
浄化槽 処理対象人員 25人 汚水量 5.0m3
汚水量 17.04 × 0.25m3/人 = 4.26m3
BOD 20PPM



注 記
保健室・湯沸室へ電気温水器を設置

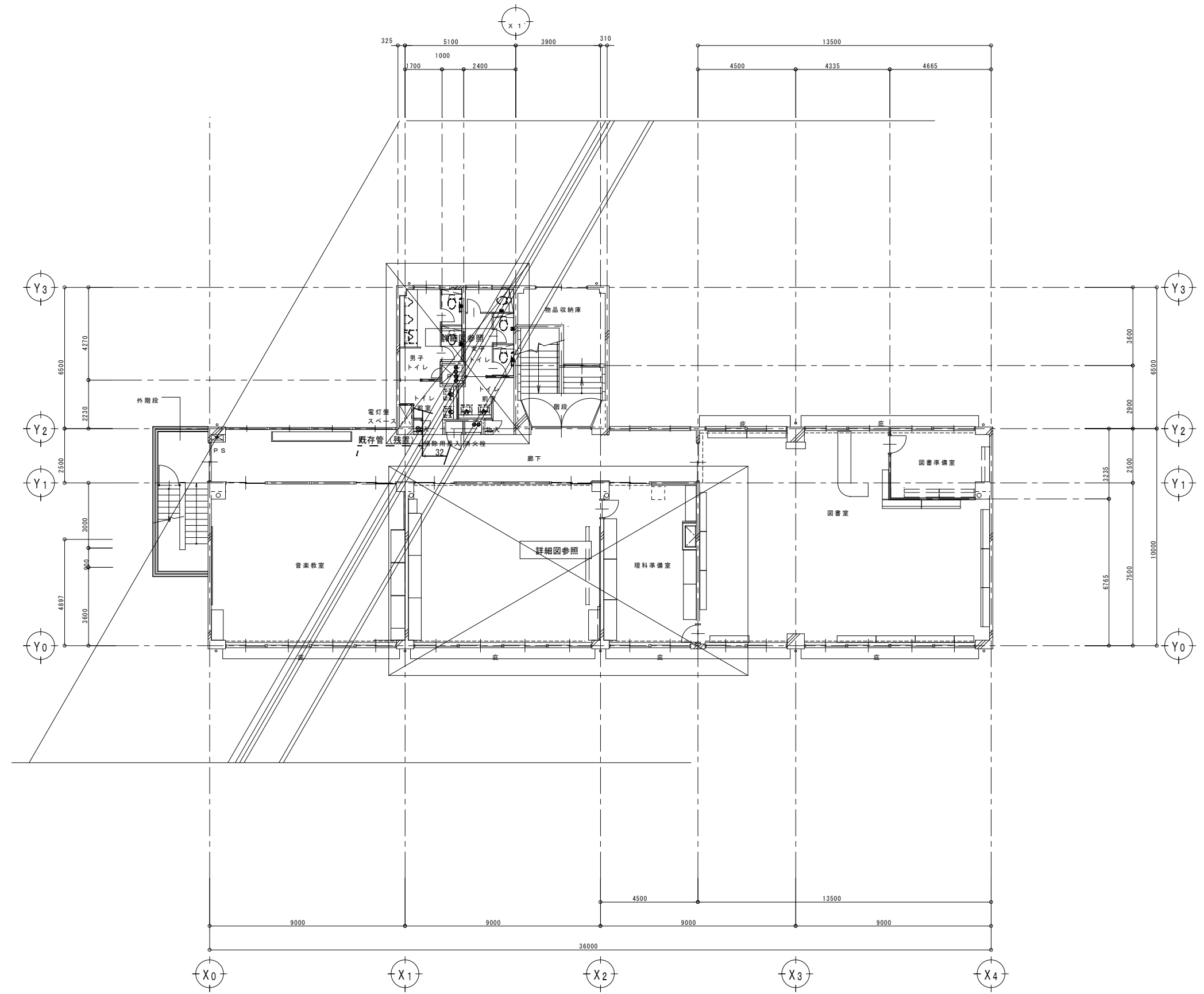
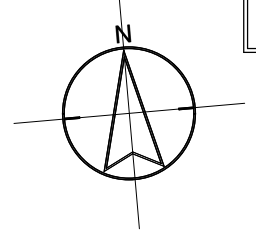
1階 平面図 (改修後) S=1/100



2階 平面図 (改修後) S=1/100

変更年月日	 ユニ・アート設計事務所 <small>UNI-ART-PLAN OFFICE Co., Ltd.</small>	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認	設計	製図	照合	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-08
			図面名称	給排水衛生設備 2階 平面図(改修後)	作成日	令和6年1月31日	縮尺	A3: S=1/200			

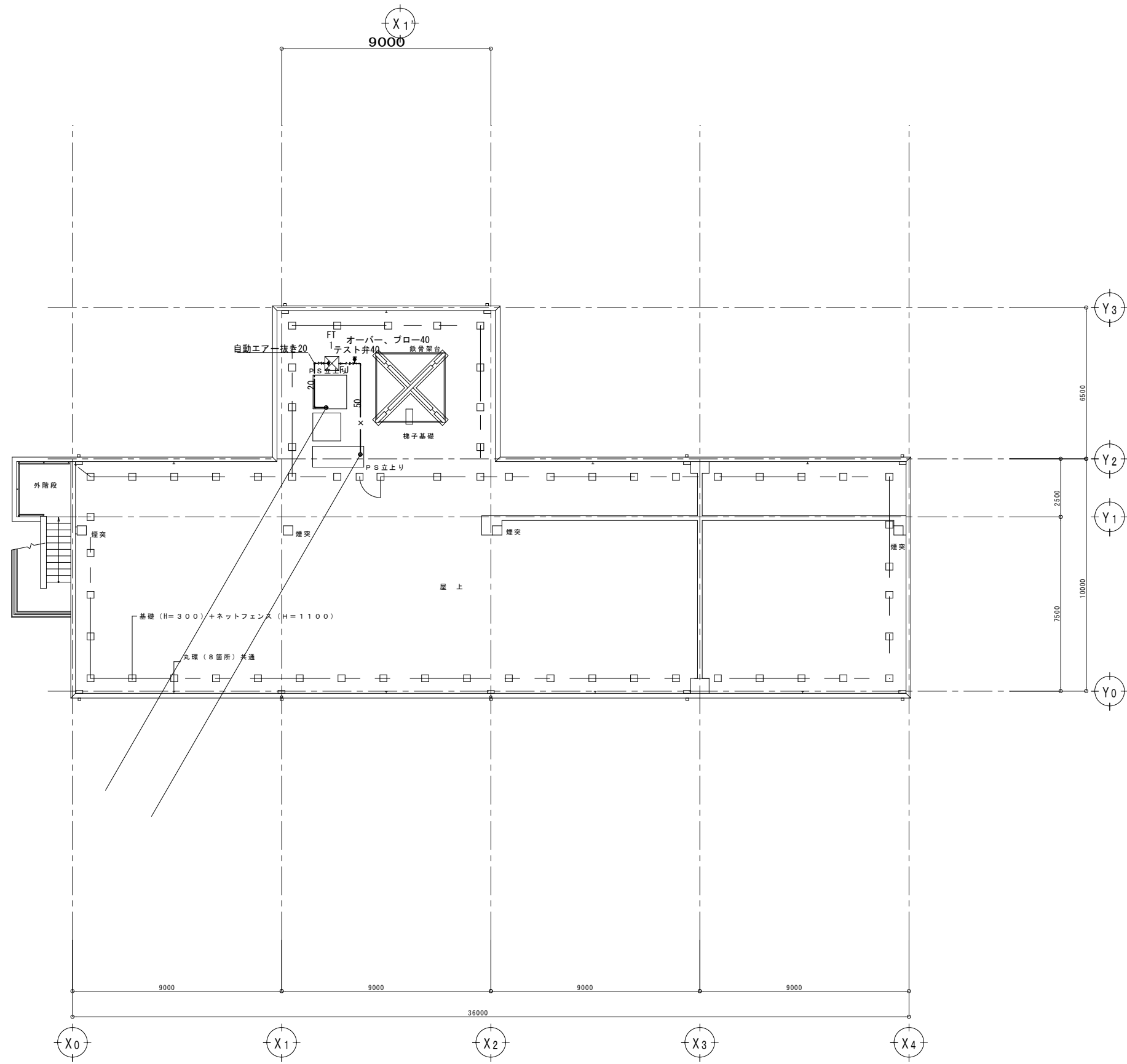
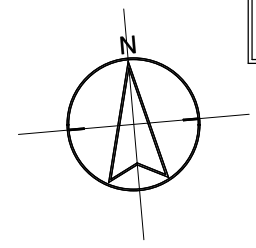
改修後



3階 平面図 (改修後) S=1/100

変更年月日	 ユニ・アート設計事務所 <small>UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD.</small>	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合 	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事 (再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-09
				図面名称	給排水衛生設備 3階 平面図 (改修後)	作成日	令和6年 1月 31日	

改修後



屋根伏図 (改修後) S=1/100

変更年月日	
作成日	

ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

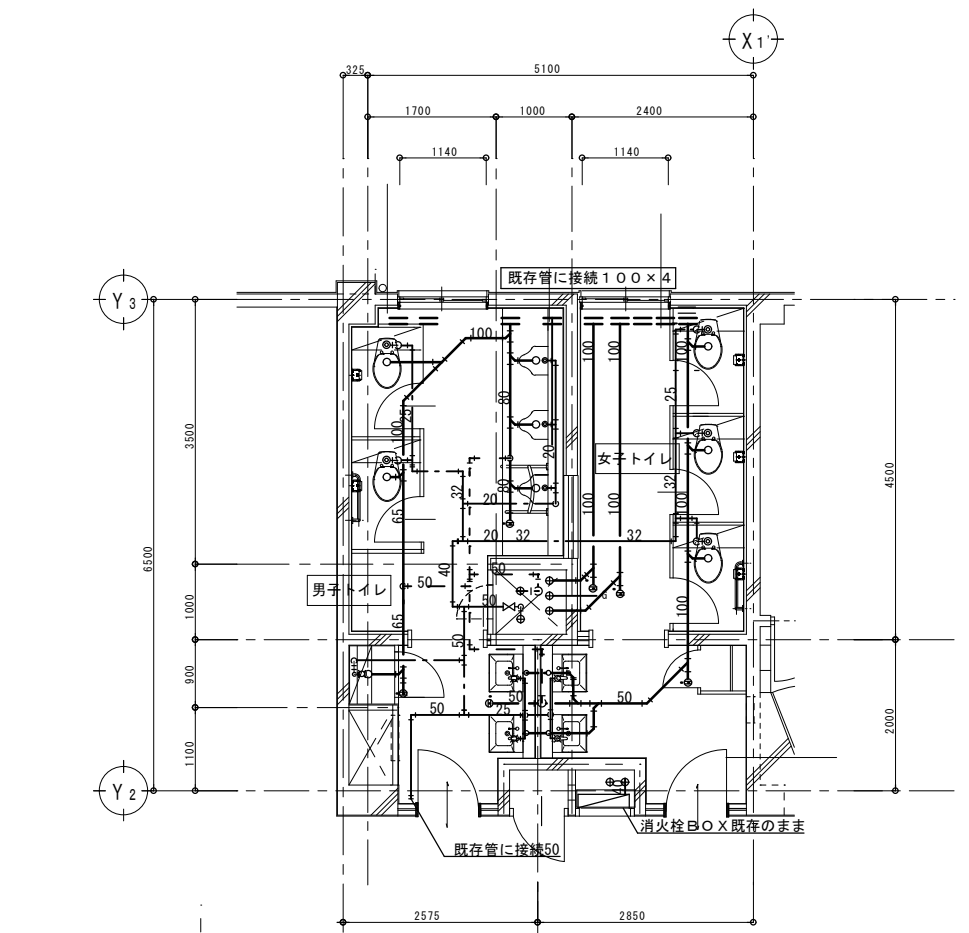
承認	設計	製図	照合

工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)
図面名称	給排水衛生設備 屋根伏図(改修後)

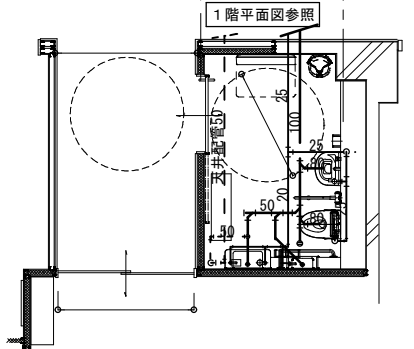
縮尺	A1: S=1/100
	A3: S=1/200
作成日	令和6年1月31日

M-10

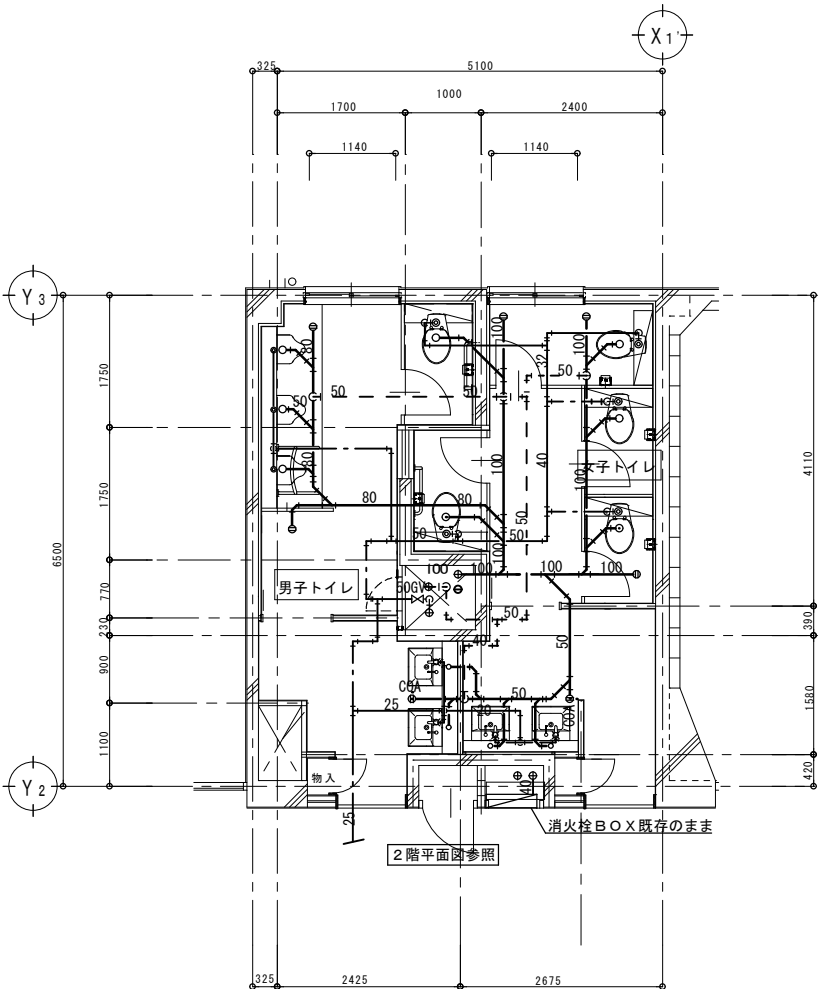
改修後



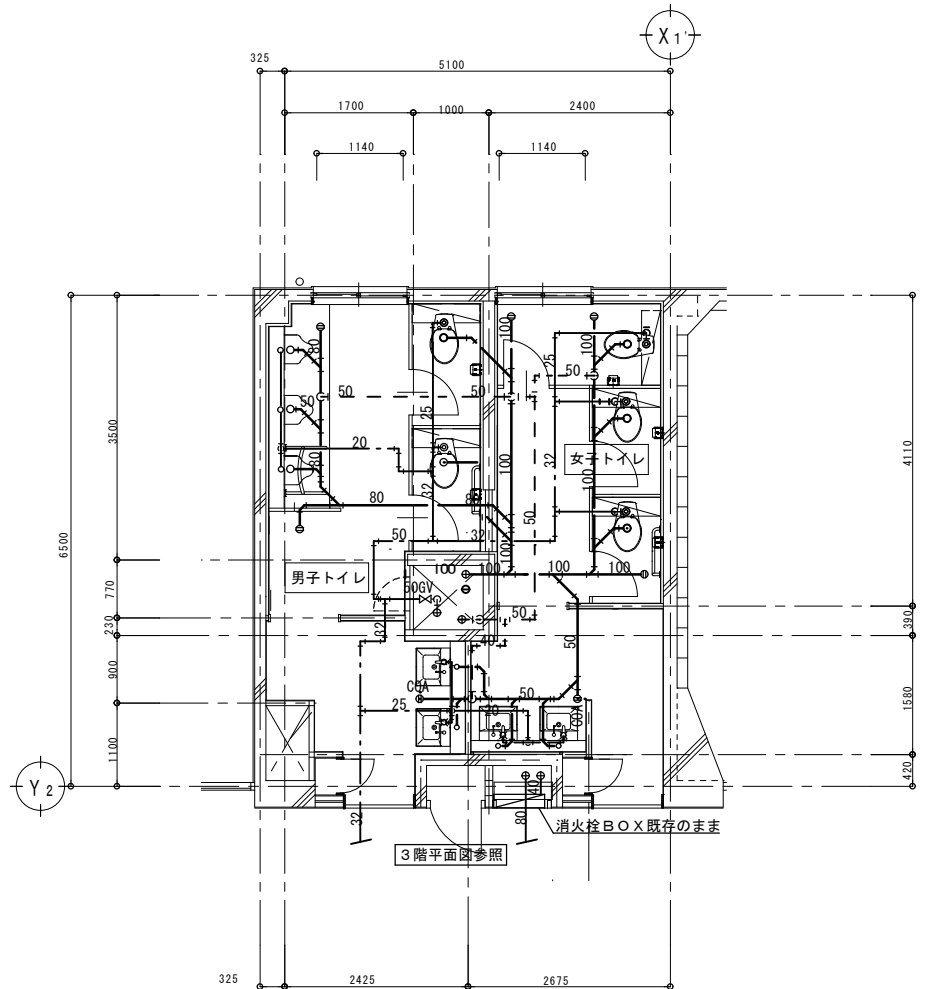
1階 男子・女子職員トイレ、トイレ前室平面詳細図 (改修後) S=1/50



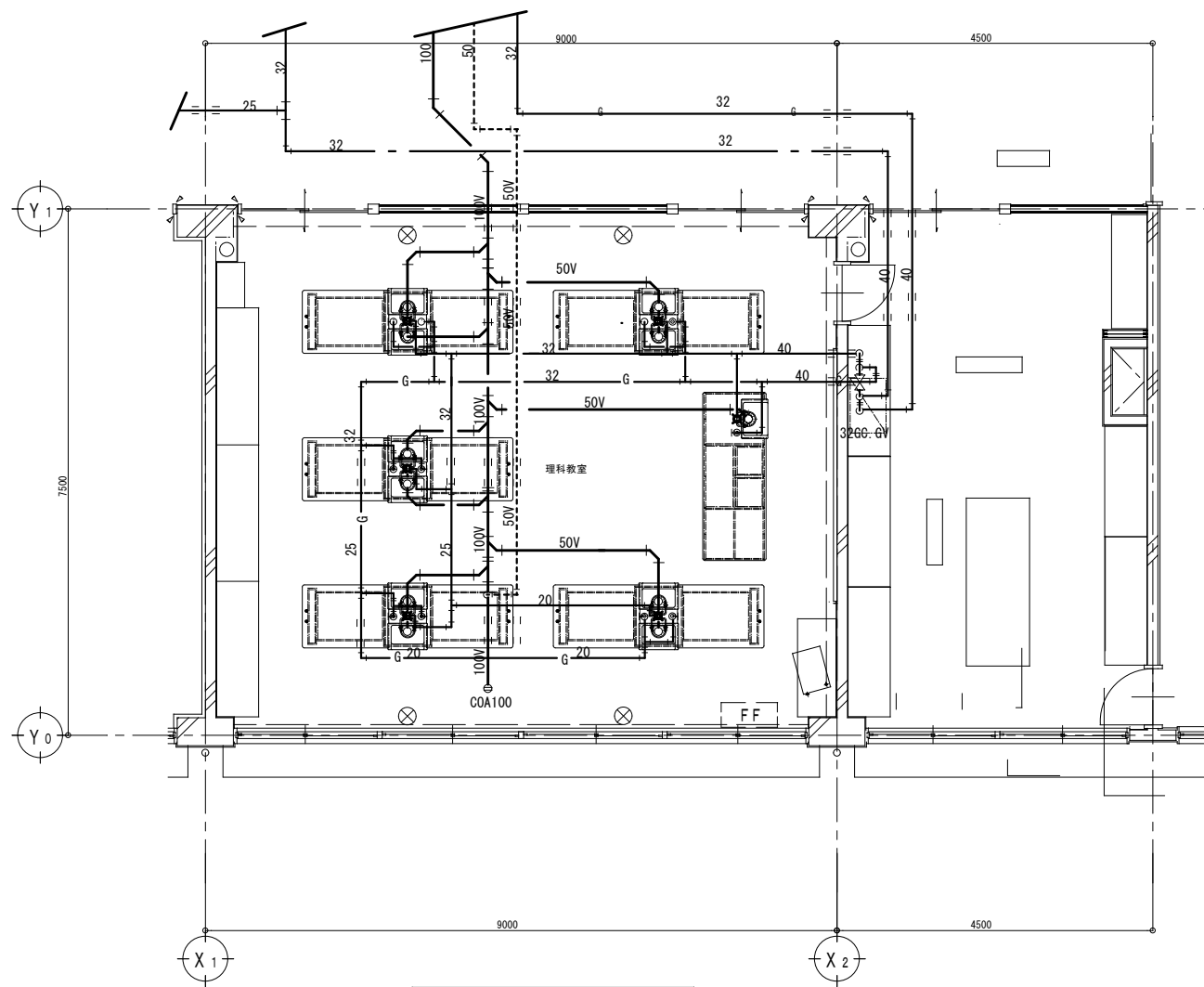
1階 多機能トイレ平面詳細図 (改修後) S=1/50



2階 男子・女子トイレ、トイレ前室平面詳細図 (改修後) S=1/50



3階 男子・女子トイレ、トイレ前室平面詳細図 (改修後) S=1/50



理科室詳細図 S:1/50

変更年月日	

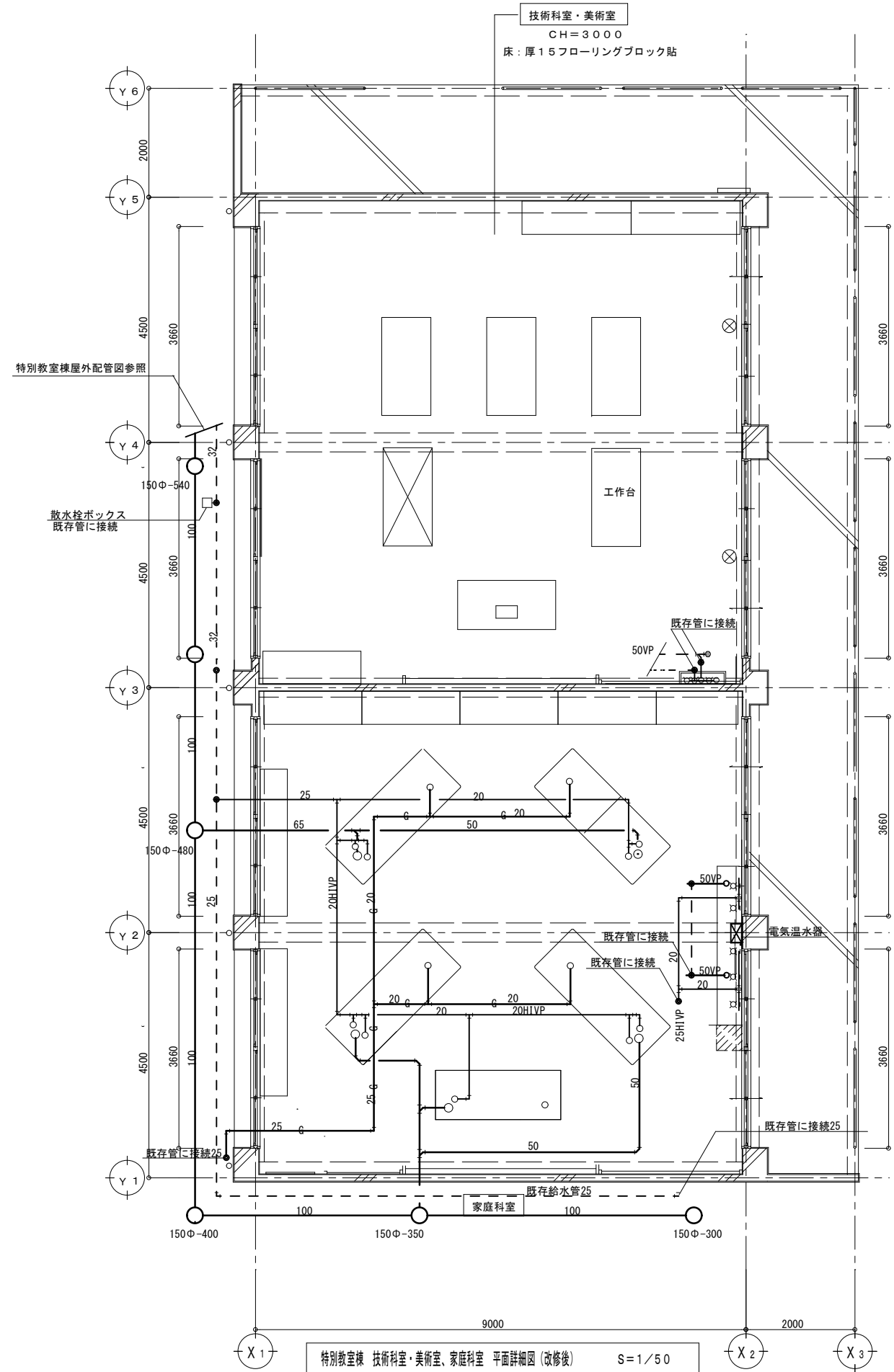

(株)ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

承認	設計	製図	照合


工事名称	大田中学校校舎大規模改造工事(再1)
図面名称	給排水衛生設備 理科室詳細図(改修後)

縮尺	A1:8=1/50
	A3:8=1/100
作成日	令和6年1月31日



特別教室棟 技術科室・美術室、家庭科室 平面詳細図 (改修後) S=1/50

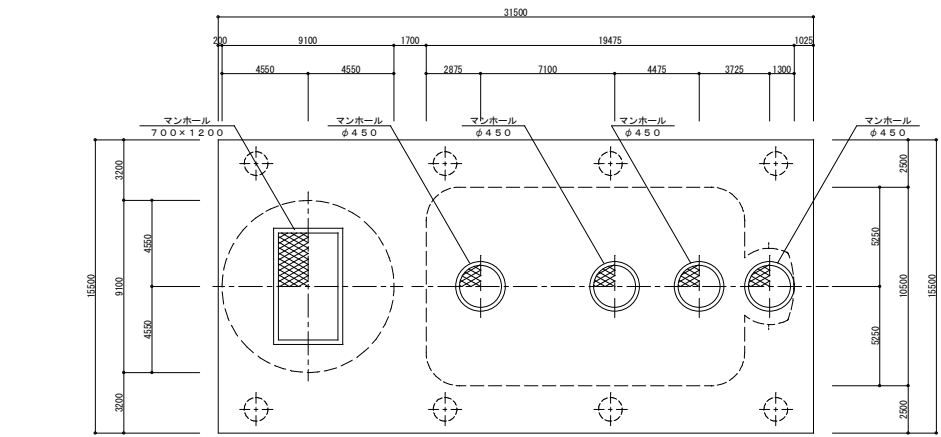
変更年月日	
図面名称	給排水衛生設備 家庭科室他詳細図 (改修後)


ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD
 一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

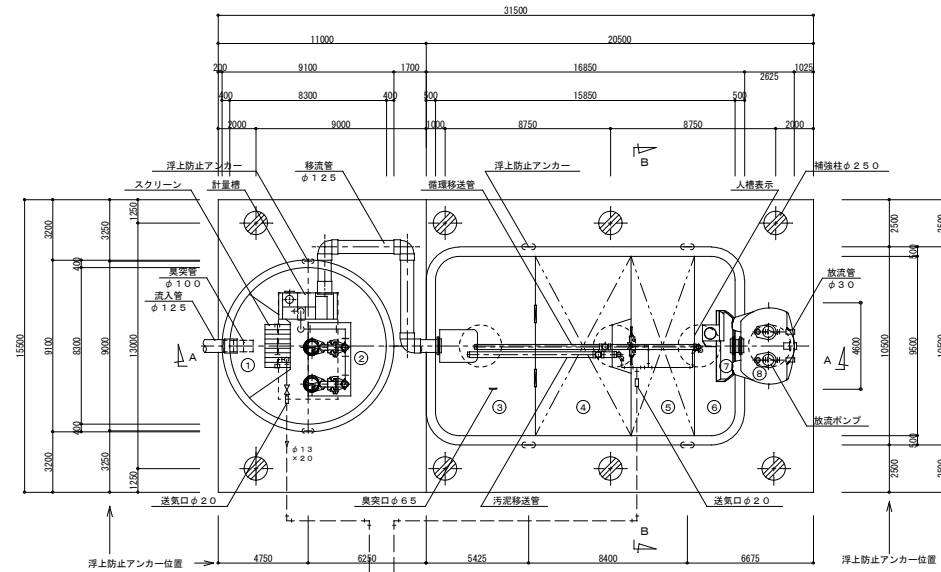
承認	設計	製図	照合

工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事 (再1)
図面名称	給排水衛生設備 家庭科室他詳細図 (改修後)

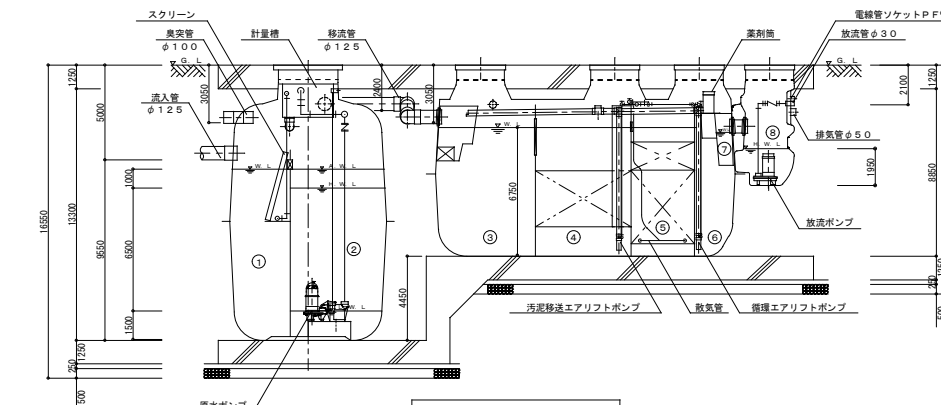
縮尺	A1: S=1/50
	A3: S=1/100
作成日	令和6年1月31日



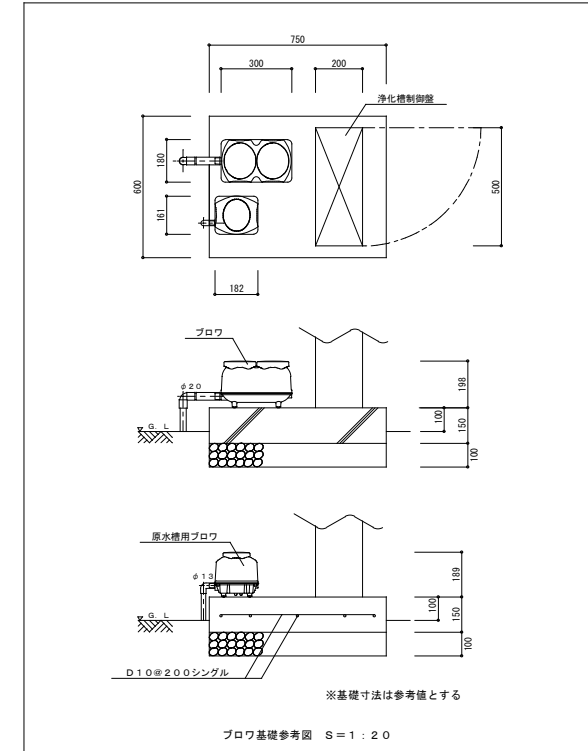
スラブ平面図 S=1:50



内部平面図 S=1:50

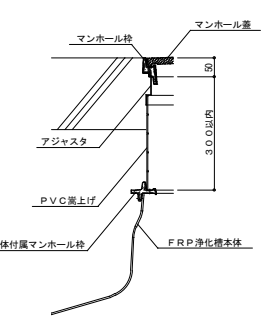


A-A断面図 S=1:50



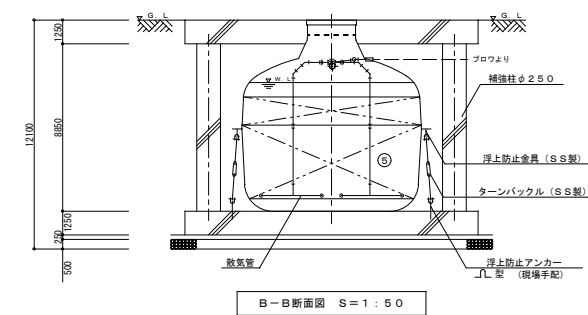
※基礎寸法は参考値とする

フロート基礎参考図 S=1:20



アジャスタ取り付け図

- 注1) 丸形マンホールはアジャスターを介して蓋をセットしてください。
- 注2) アジャスターを採用する場合最低蓋上げは100mmとなります。
- 注3) アジャスタとPVC蓋上げを合わせて300mm以内としてください。



B-B断面図 S=1:50

原水ポンプ槽 [GP15]		※吊上目安重量: 400kg	
①	ばっ気型スクリーン	有効容量	0.570 m ³
②	原水ポンプ槽	有効容量	1.885 m ³
原水槽用 ブロウ	吐出量	口径	消費電力
	30L/min	φ13	20W
原水ポンプ	吐出量	口径	出力
	120L/min	φ50	250W
槽本体	FRP	運転方式	台数
パイプ類	PVC	運転方式	台数
マンホール	鉄筋(5000K)	自動運転	2

仕様表			
設計番号	TKS5256A		
処理方式	接触ろ床方式		
型式名称	フジクリーン CV-25 型	※吊上目安重量: 540kg	
処理対象人員	25人		
汚水量	5.00m ³ /d		
流入水質	BOD200mg/L	COD100mg/L	T-N 45mg/L SS 160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L SS 15mg/L
③	沈殿分離槽	有効容量	2.375 m ³
④	嫌気ろ床槽	有効容量	2.375 m ³
⑤	接触ろ床槽	有効容量	1.570 m ³
⑥	処理水槽	有効容量	0.846 m ³
⑦	消毒槽	有効容量	0.053 m ³
⑧	放流ポンプ槽 (総容量に含まない)	有効容量	0.105 m ³
総容量	有効容量	7.219 m ³	

機器装置仕様			
ブロウ	吐出量	口径	消費電力
	200L/min	φ20	130W
放流ポンプ	吐出量	口径	出力
	100L/min	φ30	150W
槽本体	FRP	運転方式	台数
パイプ類	PVC, PPまたはPE	運転方式	台数
ろ材	PPまたはPE	自動交互運転	2
マンホール	鉄筋(5000K)		
消毒剤	固形塩素剤		

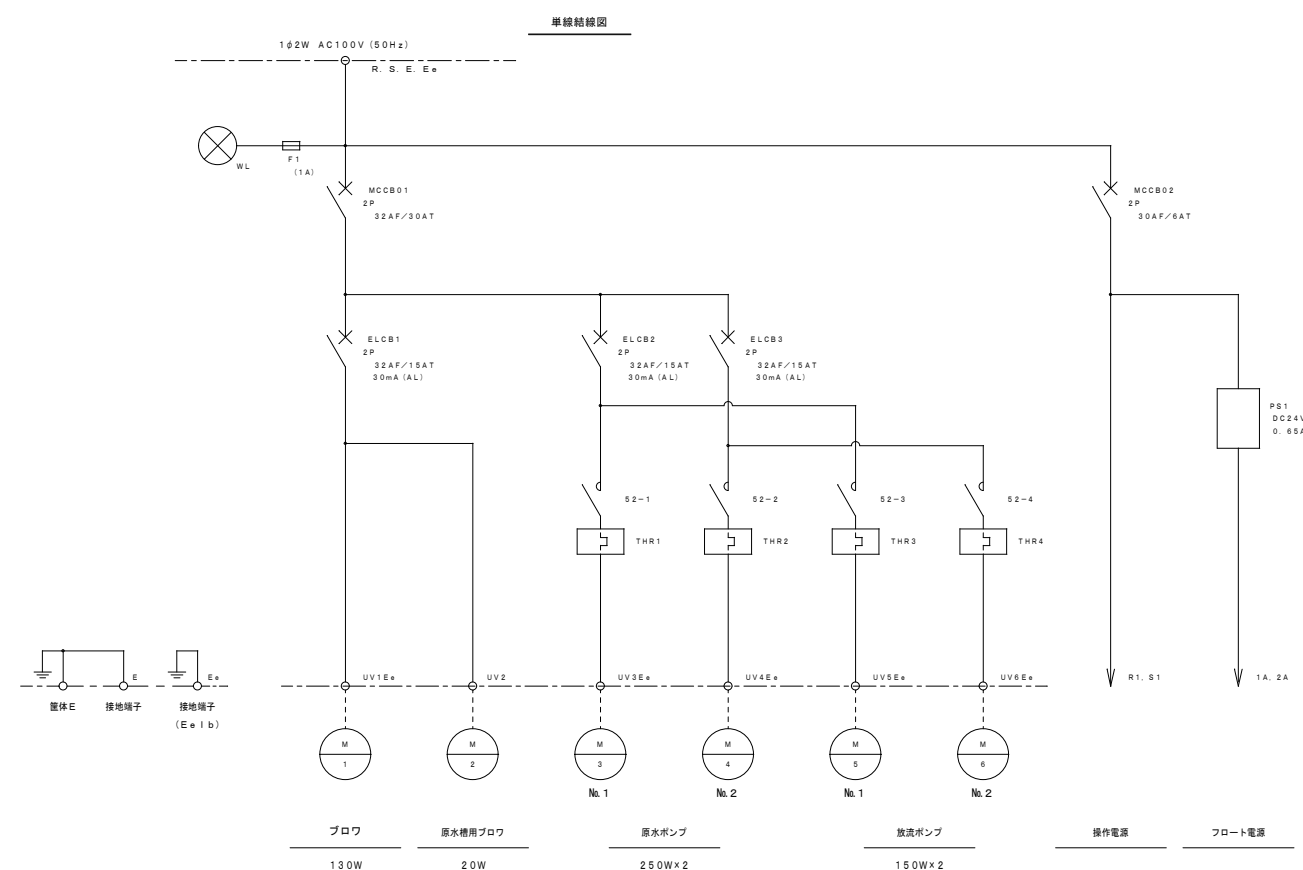
露出配管 (ブロウ廻り)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

原水ポンプ槽のフロート取付高さ (フロートスイッチより上端からケーブル固定アングルまで)				
フロート番号	1 (LWL)	2	3 (HWL)	4 (AWL)
フロート長さ (mm)	2220	2120	970	770

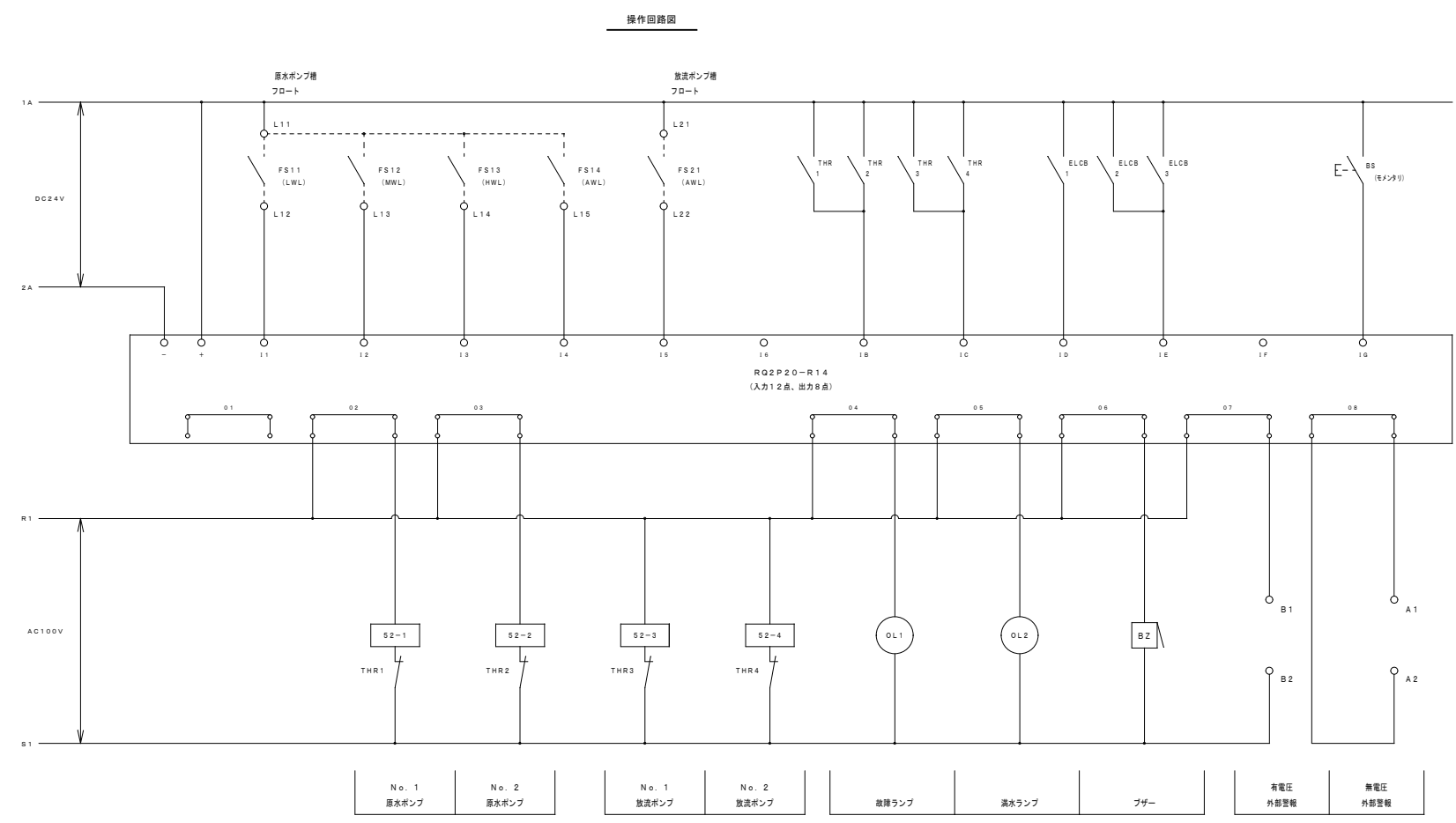
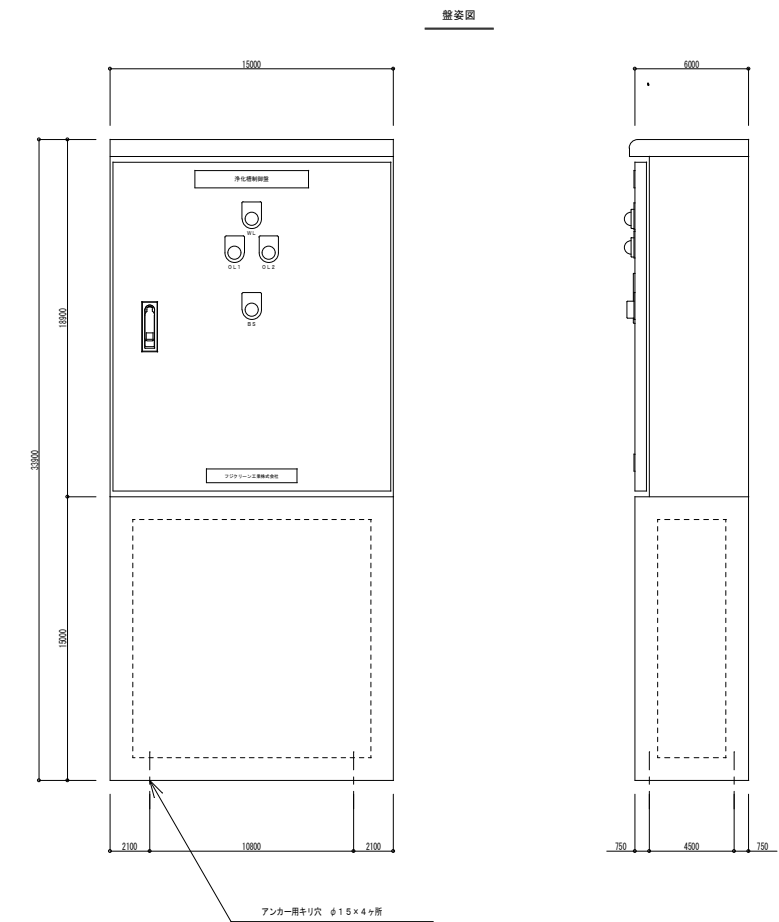
- 注1) 上部はT-20荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相100V、総電力は1150W(50Hz)、一次側引込電容量は30A以上とする。
- 注3) 図中の"G.L."は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロウまでの距離は10m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭気管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) 電気工事は二次側(浄化槽制御盤以降)を浄化槽工事とする。一次側(電源引き込み)は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注9) 地耐力は61KN/m²以上必要とする。(実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注10) 岩留工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。
- 注11) 現状嵩上げ高さ: 原水ポンプ槽100mm、浄化槽100mm
最大嵩上げ高さ: 原水ポンプ槽300mm、浄化槽300mm
- 注12) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。
流入・放流管は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	VU50
電線管	PFD36

- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注2) 排気管の放出部は、側溝の最大水位より100mm以上(目安)上部に設置のこと。
- 注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。
- 注4) 排気管は途中で水溜りが起こるようなV字配管にしないこと。
- 注5) 電線管の高端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと。
- 注6) これらの処理を怠ると、浄化槽内で発生したガスが浄化槽内、および電線管の接続先付近に設置している設備・機器の金属部を腐食し、機器破損・障害の生ずるおそれがあります。

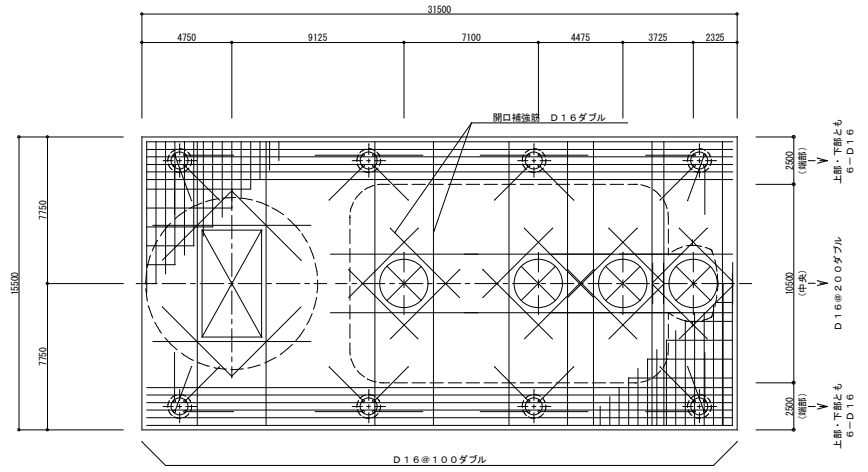


※アース端子は2つの機器で共用する場合があります。
※プロフがアースレスの場合は端子台への接続は必要ありません。

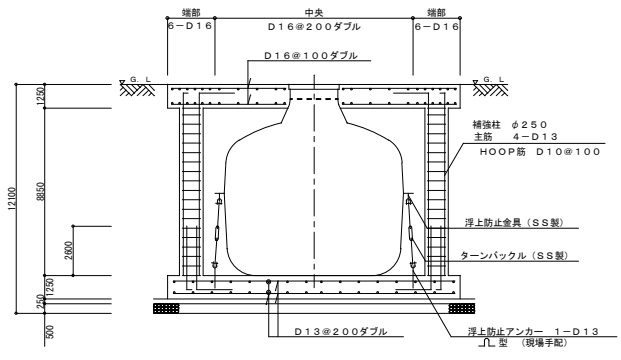


制御盤仕様

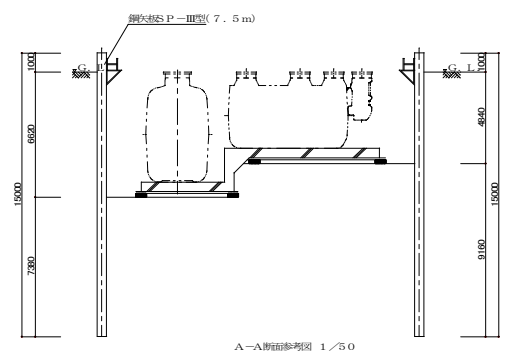
設計番号	TKS5256A
型式	CVR106 (GHP) -FN (14-50)
構造	水切、防水・防塵構造
板厚	本体 1.6t
(銅板製)	扉 1.6t
塗装	外面 マンセル5Y7/1
	内面 マンセル5Y7/1



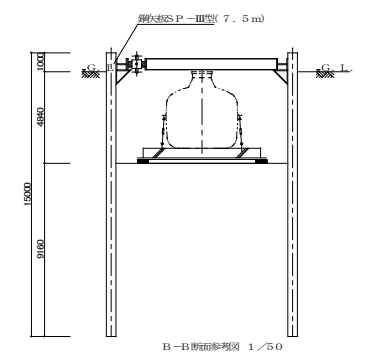
スラブ配筋図 S=1:50



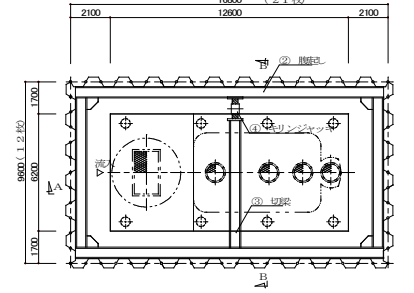
浄化槽断面配筋図 S=1:50



A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50

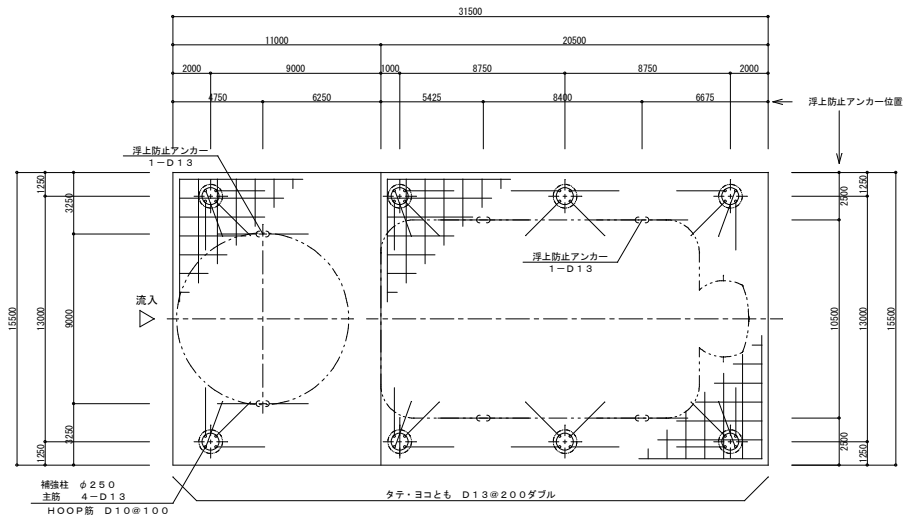


TKS5256B
山留仕様仕様 参考仕様

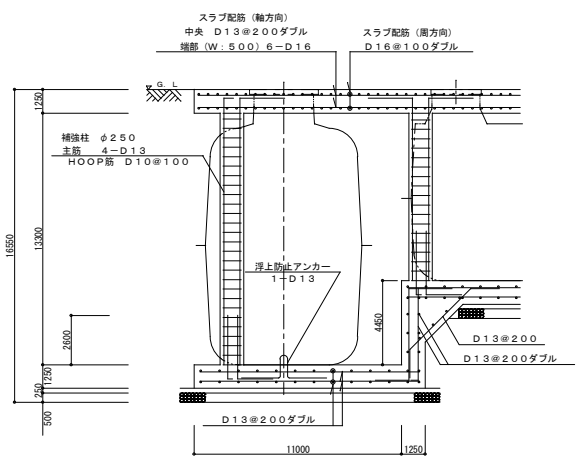
①鋼材板	: SP-III
②鋼材板	: 7.5m × 6.6枚
③切戻	: H-300 × 300 × 10 / 15 (1段)
④スリット	: H-300 × 300 × 10 / 15 (1段)
⑤スリット	: φ 450 × 650mm (M ×)

※ ボーリングデータが無い為、山留仕様は参考とする。
※ 工事前山留ボアリングデータに基づき、山留仕様は現場にて決定すること。

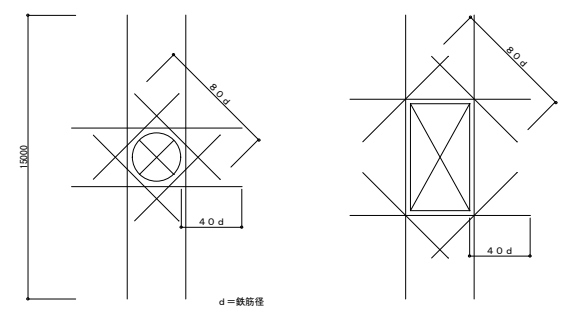
山留参考図



ベース配筋図 S=1:50



原水ポンプ槽断面配筋図 S=1:50



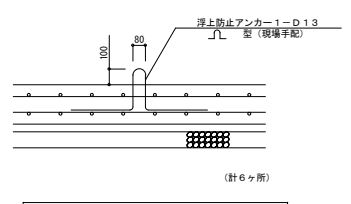
開口補強筋詳細図

(ダイヤモンド補強: D16ダブル)

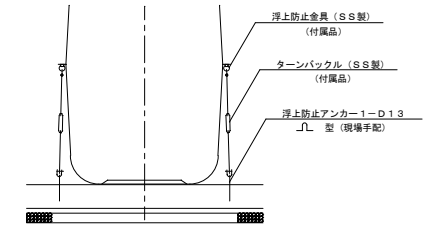
TKS5256A

一般事項	
コンクリート	$F_c = 21N/mm^2$
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地業	砕石又はRC 40~0

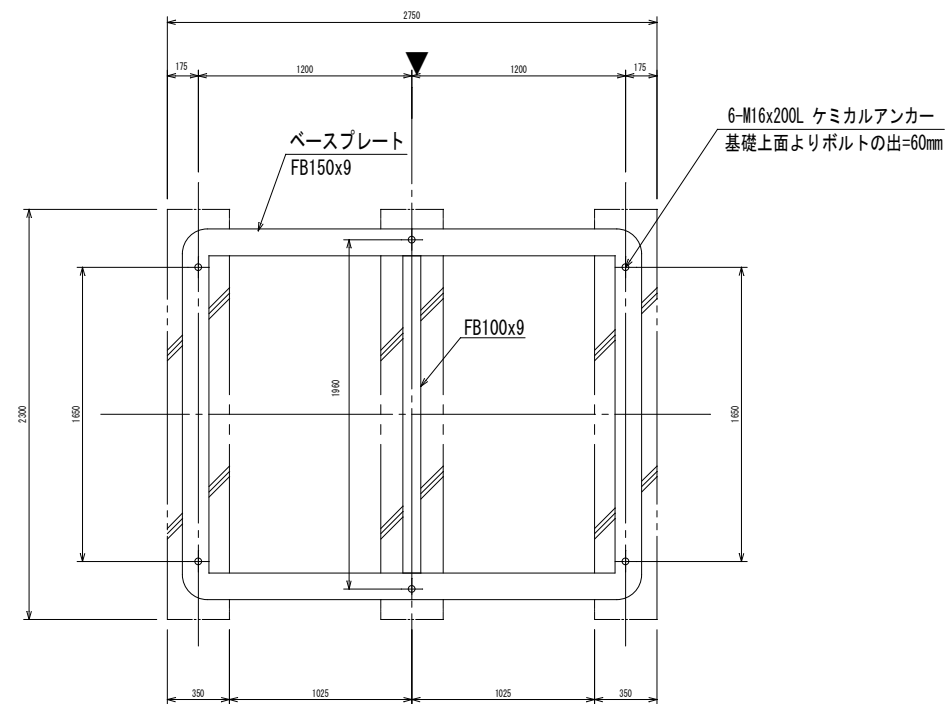
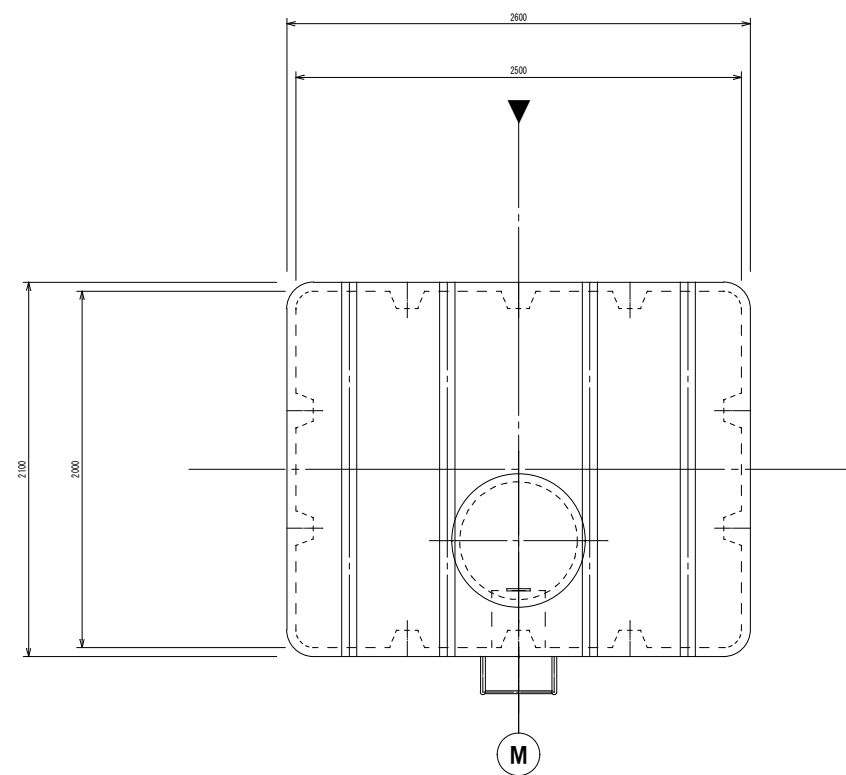
- 注1) 上部はT-20荷重とする。
- 注2) 図中の“G.L.”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注3) 地耐力は61KN/m²以上必要とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注4) 現状差上げ高さ: 原水ポンプ槽100mm、浄化槽100mm
最大差上げ高さ: 原水ポンプ槽300mm、浄化槽300mm



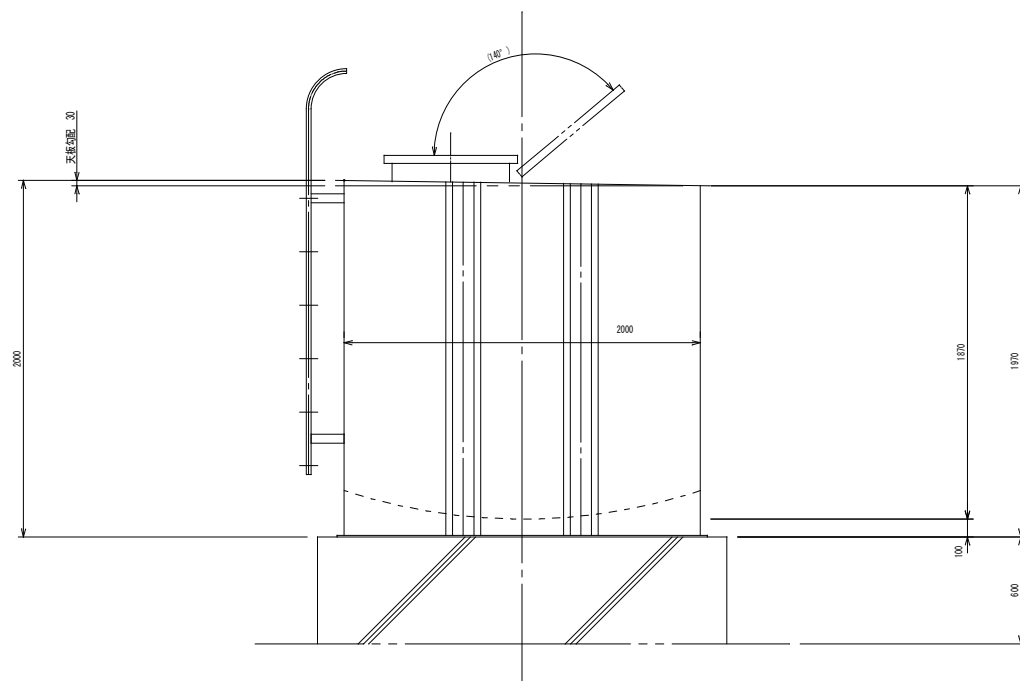
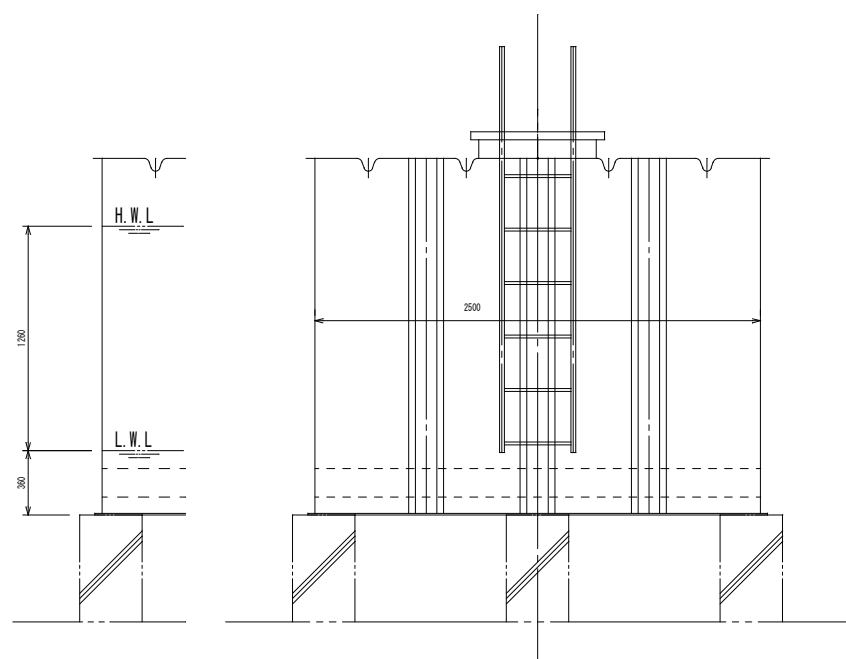
浮上防止アンカー詳細図 S=1:30



φ1500原水ポンプ槽浮上防止アンカー図 S=1:50



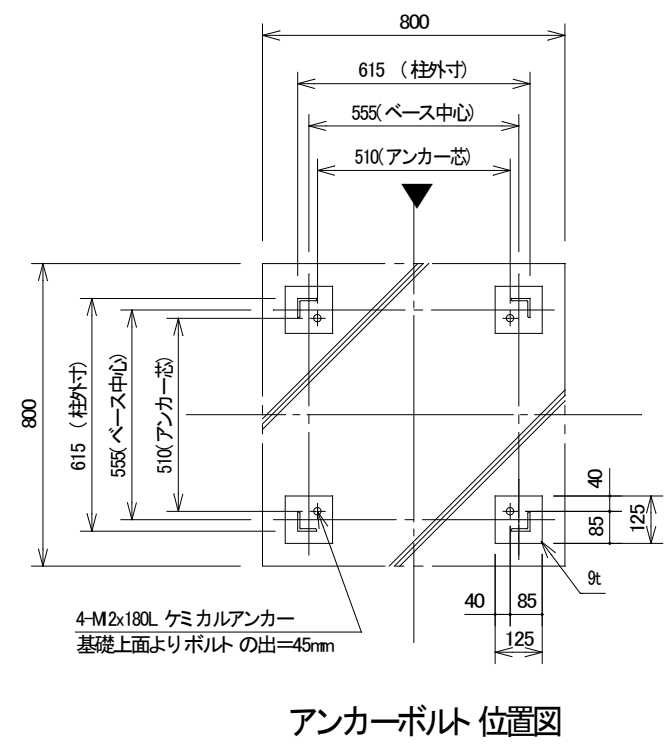
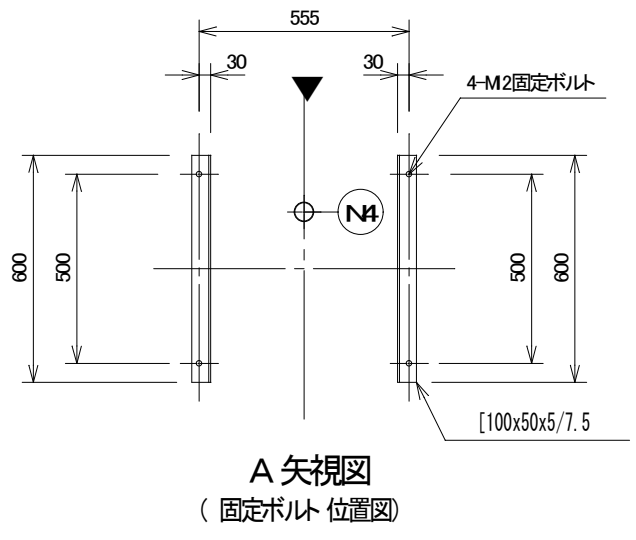
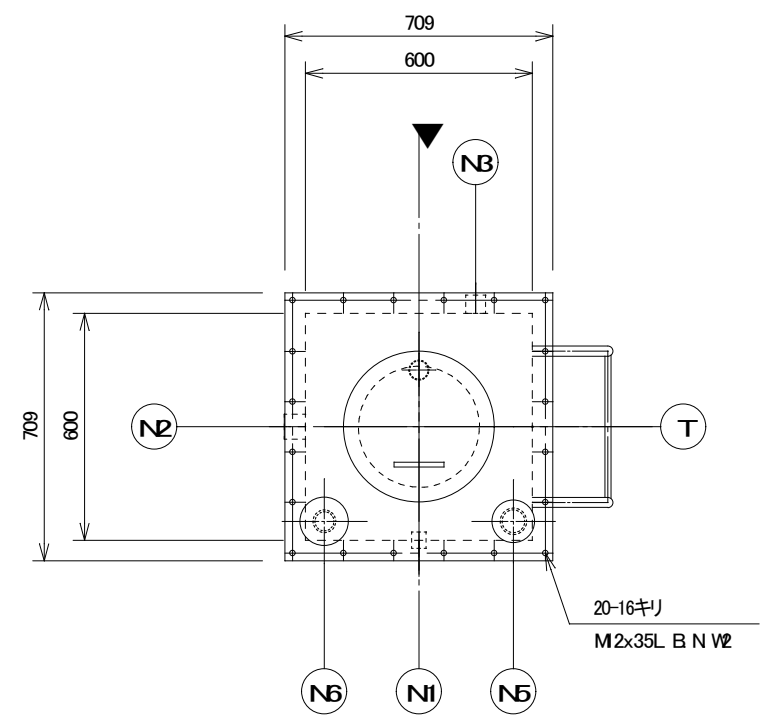
アンカーボルト位置図



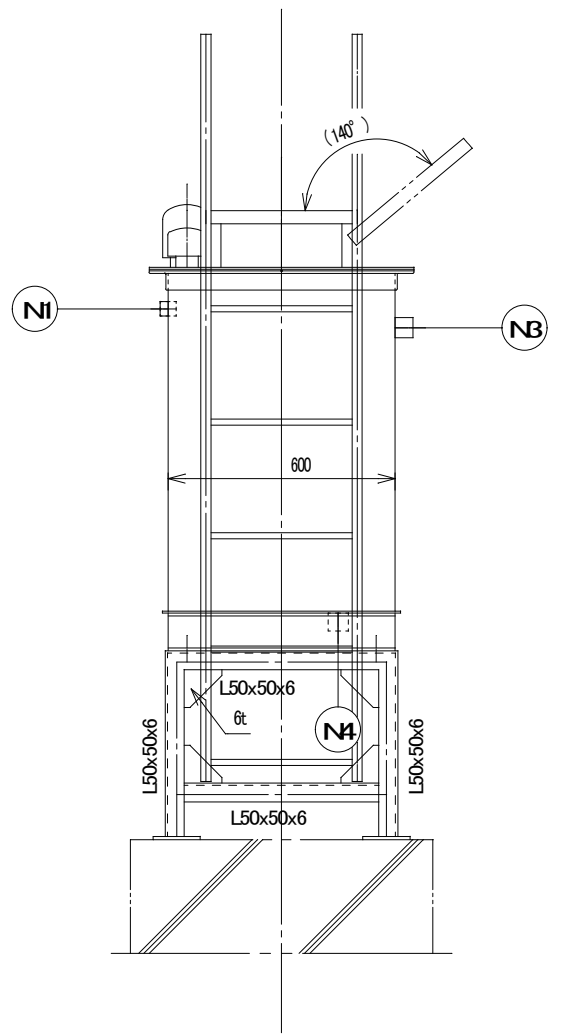
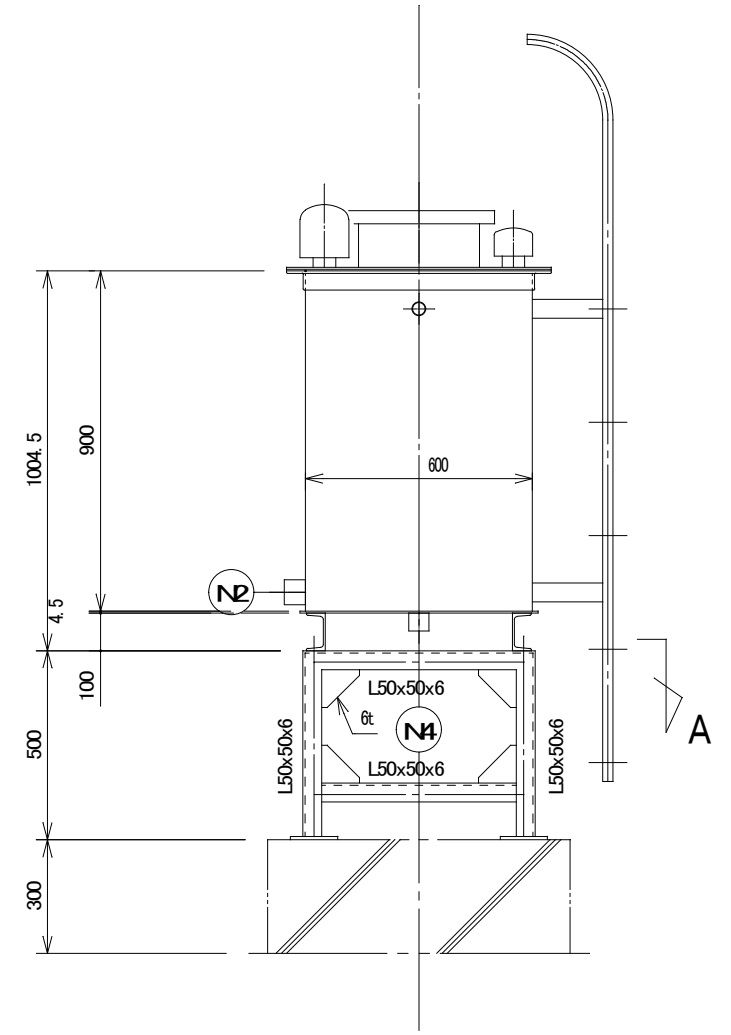
ノズル表						
符号	名称	呼数	管材	継手	備考	
N-1	給水口	1			防波筒付 (PVC)	
N-2	給水口	1			ポルタップロ	
N-3	揚水口	1				
N-4	溢水口	1				
N-5	排水口	1				
N-6	通気口	1			防虫網付 (PVC)	
N-7	電極座	1			防波筒・カバー付 (PVC)	
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	鍵付カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様		国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
材質	SS400	容 量	呼称= 有効= 6 m ³
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm (JIS規格品使用)	製品質量	1430kg
防食仕様		材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー	外 装 色	標準色: アイボリー (日塗工No. L22-800)
設計震度	KH=1.0 KV=0.5	内 梯 子	合成樹脂製
外 梯 子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)	ボルト・ナット	水槽内部 気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット 液相部 SUS304 水槽外部 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)



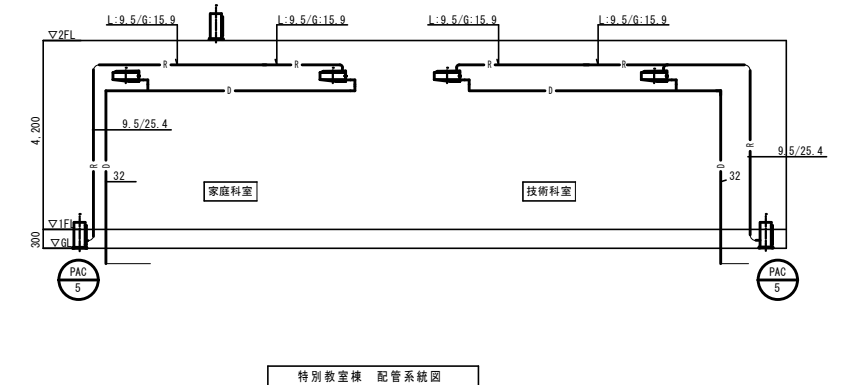
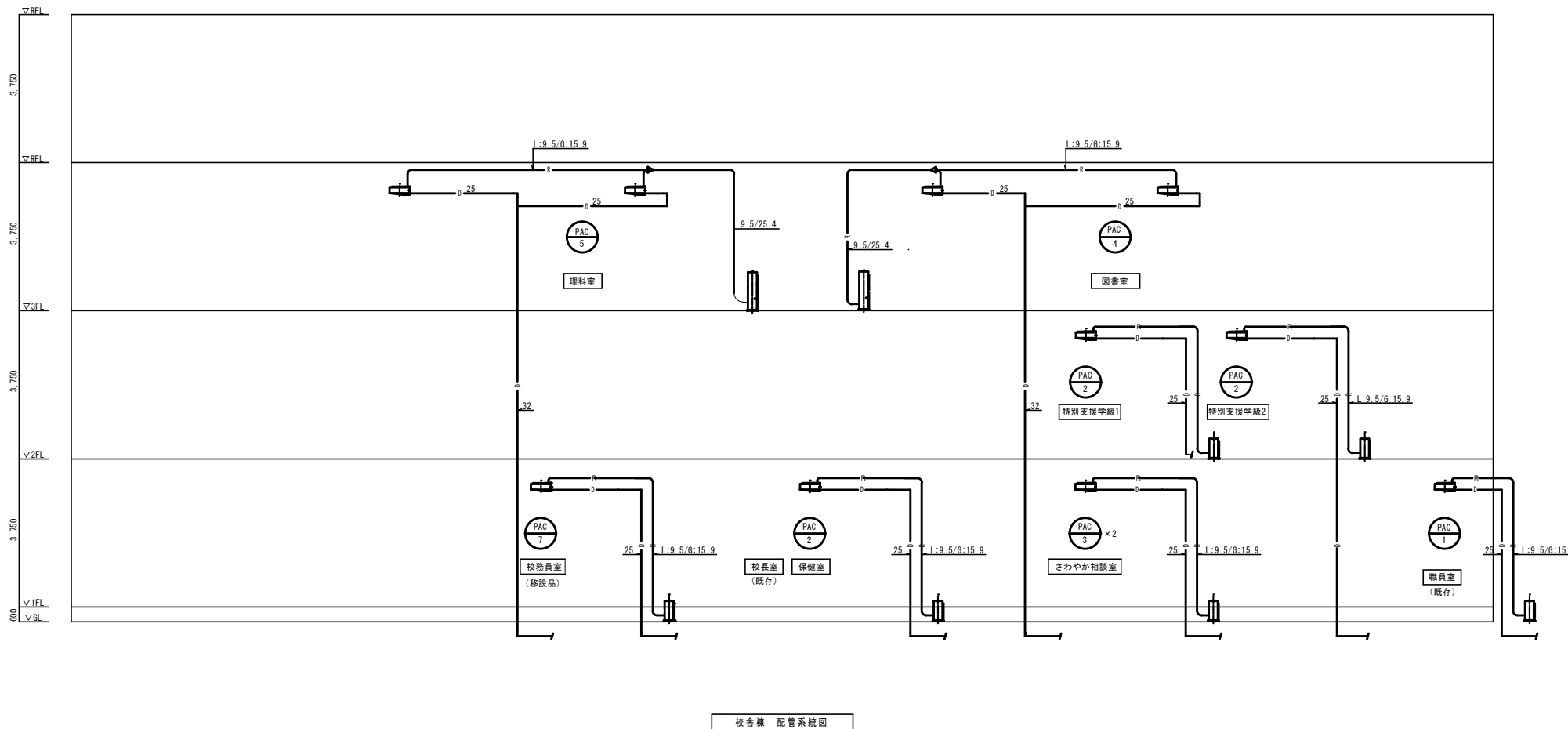
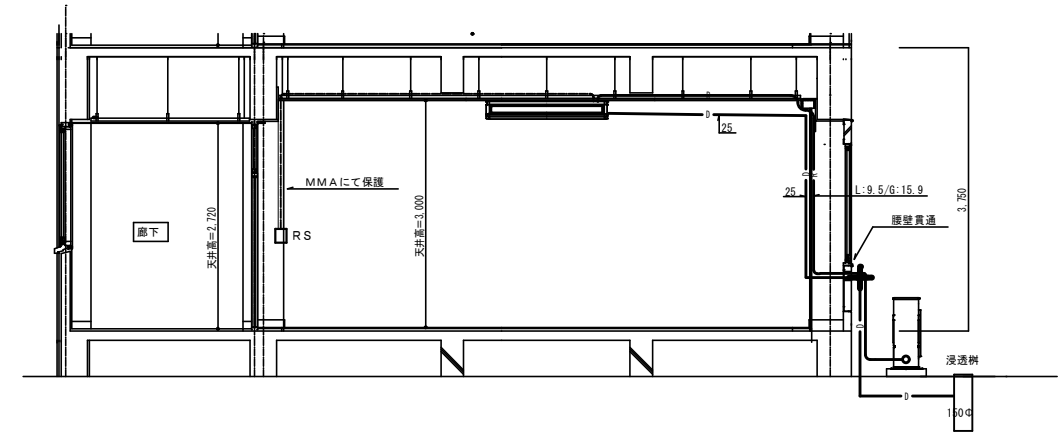
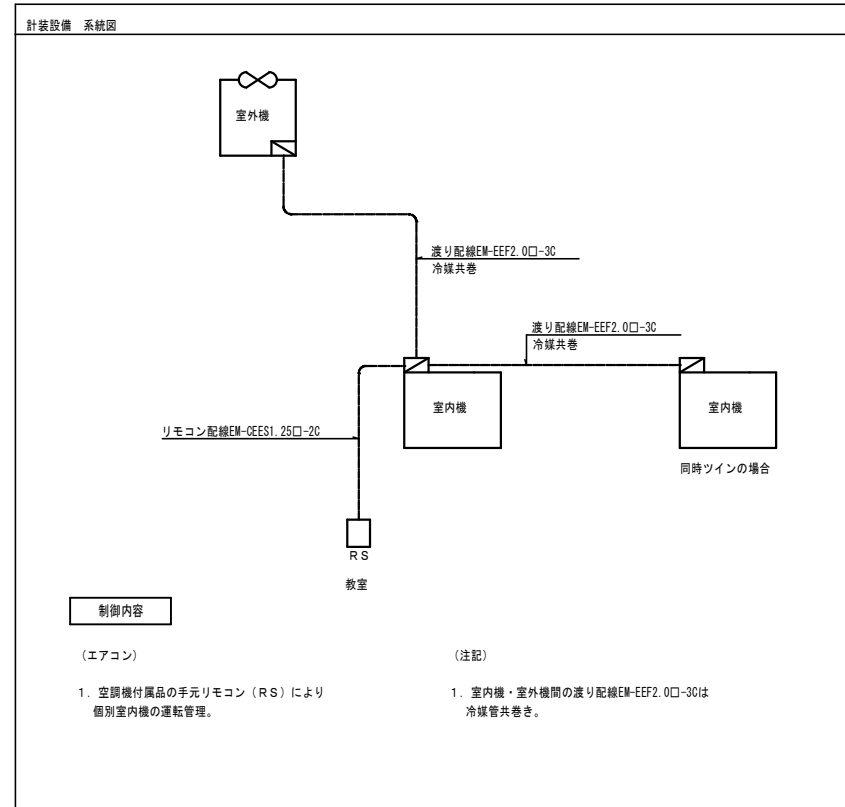
ノズル表					
符号	名称	呼称	数	管材	継手備考
N-1	給水口	25A	1	SUS304	ソケット ポールタップロ
N-2	補給水口	50A	1	SUS304	ソケット
N-3	溢水口	40A	1	SUS304	ソケット
N-4	排水口	40A	1	SUS304	ソケット
N-5	通気口	50A	1	SUS304	ニップル 防虫網付(PVC)
N-6	電極座	50A	1	SUS304	ソケット カバー付(PVC)
T	点検口	φ300	1	SS400	- 鍵カバー

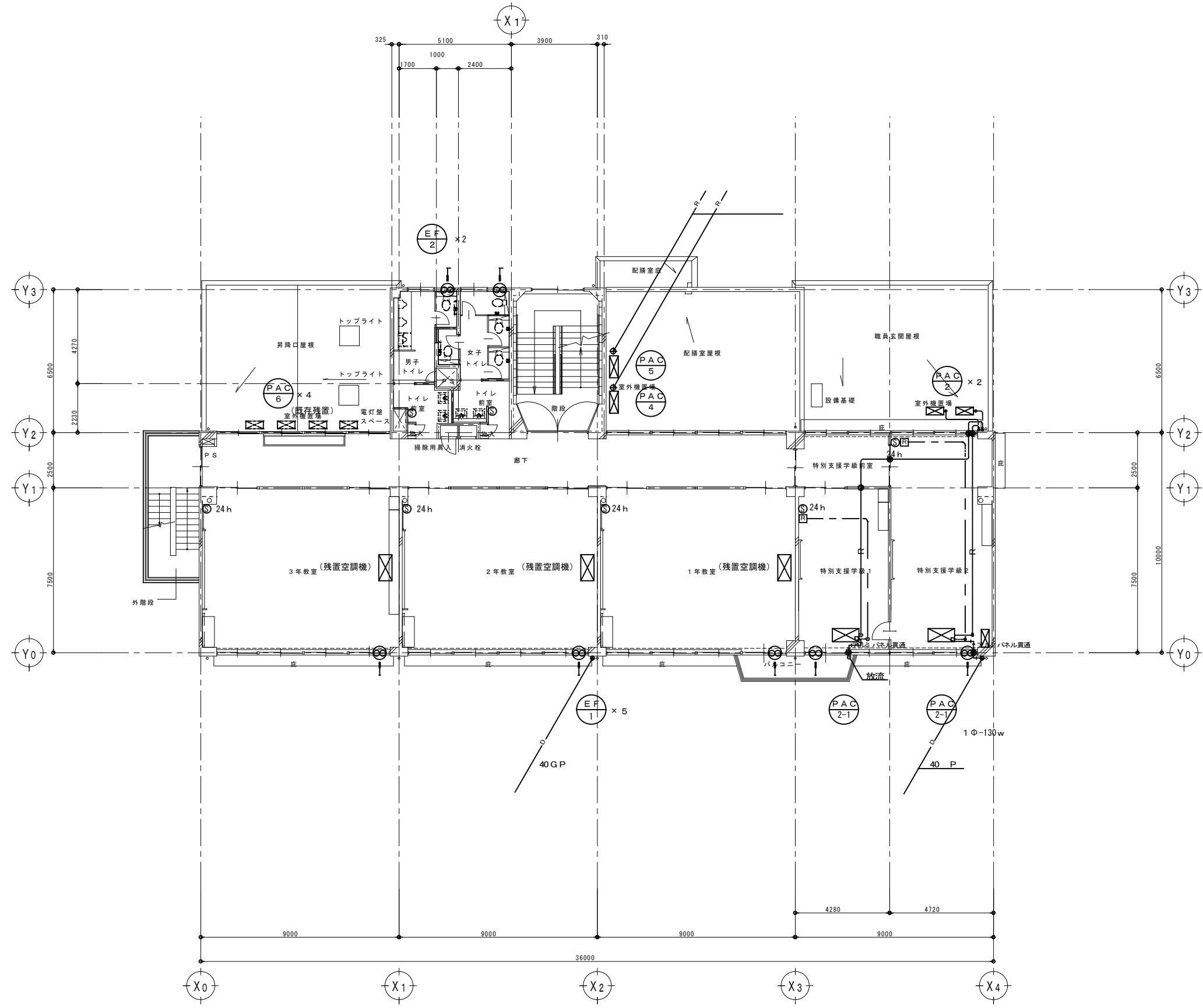
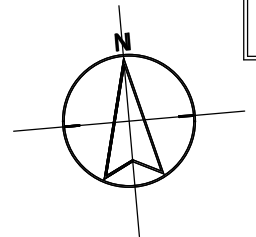


槽の仕様	鋼板製消火補給水槽		
	材質	SS400	
容量	呼称=	有効=0.2m³	
板厚	天=4.5mm 側=4.5mm 底=4.5mm		
(JIS規格品使用)			
製品質量	205kg	架台質量=45kg	
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂	
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上	
	施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー	
外装色	標準色: アイボリー (日塗工No. L22-80D)		
設計用震度	KH=1.5 KV=0.75		
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ(HDZT49)		
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ(HDZT49)		
外部のボルト・ナット	点検口	SUS304	
	アンカーボルト・ナット	SUS304	
	その他の部分	(S鋼材) 溶融亜鉛メッキ(HDZT49)	

機器表		動力			校舎棟		特別教室棟		参考型番	備考
機器番号	機器名称	機器仕様	KW	相	電圧	台数	設置場所	台数		
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン (既存再使用)	天吊露出形 標準シングル 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 圧縮機 (外) 3.08KW 送風機 (内) 0.150KW (外) 0.186KW 付属品 ワイード'リコン、他一式		3	200		1F 職員室 (既存残置)		SZRH160BJ	(既存再使用)
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 圧縮機 (外) 1.7kW 送風機 (内) 0.091KW (外) 0.070KW 付属品 ワイード'リコン、他一式		3	200	1	1F 校長室 (既存残置) 1F 保健室		SZRH08BT SZRH08BT	(既存再使用)
PAC-3	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5.0KW 圧縮機 (外) 0.92KW 送風機 (内) 0.060KW (外) 0.070KW 付属品 ワイード'リコン、他一式		3	200	2	2F 特別支援学級 1 2F 特別支援学級 2		SZRH08BT SZRH08BT	
PAC-4	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 同時ツイン 冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW 圧縮機 (外) 5.95KW 送風機 (内) 0.150KW×2 (外) 0.227KW×2 付属品 ワイード'リコン、分岐管、他一式		3	200	1	3F 図書室		SZRH280BD	
PAC-5	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 同時ツイン 冷房能力 20.0KW 暖房能力 22.0KW 圧縮機 (外) 4.61KW 送風機 (内) 0.130KW×2 (外) 0.227KW×2 付属品 ワイード'リコン、分岐管、他一式		3	200	1	3F 理科室 1F 家庭科室 1F 技術科室	1 1	SZRH224BD SZRH224BD	
PAC-6	空冷ヒートポンプエアコン (既存再使用)	天吊露出形 標準シングル 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 圧縮機 (外) 3.0kW 送風機 (内) 0.16KW (外) 0.06KW×2 付属品 ワイード'リコン、分岐管、他一式		3	200	3	2F 1. 2. 3年教室		三菱電機 PGZ-EMPI40KV-G	集中コントローラー 1F職員室
PAC-7	空冷ヒートポンプエアコン (既存再使用移設)	天吊露出形 壁掛型 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW 圧縮機 (外) 1.1kW 送風機		1	200	1	1F 校務員室			
EF-1	換気扇	格子タイプ (窓枠取付タイプ)、電気式シャッター・遠隔付 30cm× (強 1.22m ³ /h、弱 645m ³ /h) 付属品 強弱スイッチ、SUS製カバー (防鳥網付)、他一式	0.04	1	100	23	1F 職員室 1F 家庭科室×2 1F 技術科室×2 2F さわやか相談室×2 2F 教室×3 2F 特別支援学級×2 3F 音楽室 3F 理科室×3 3F 図書室×3 物品収納室		EX-30SC4 P-04SML2	
EF-2	換気扇	格子タイプ (窓枠取付タイプ)、電気式シャッター・遠隔付 25cm×690m ³ /h 付属品 SUS製カバー (防鳥網付)、他一式	0.0155	1	100	6	1.2.3Fトイレ			
EF-3	天井扇	低騒音形 サニタリー用 150φ×210m ³ /h×60Pa	0.026	1	100	6	1F 多目的ホール 1F 教育相談室 1F 校長室 1F 女子更衣室 1F 男子更衣室 1F 湯沸室		VD-182B12 P-04SML2	

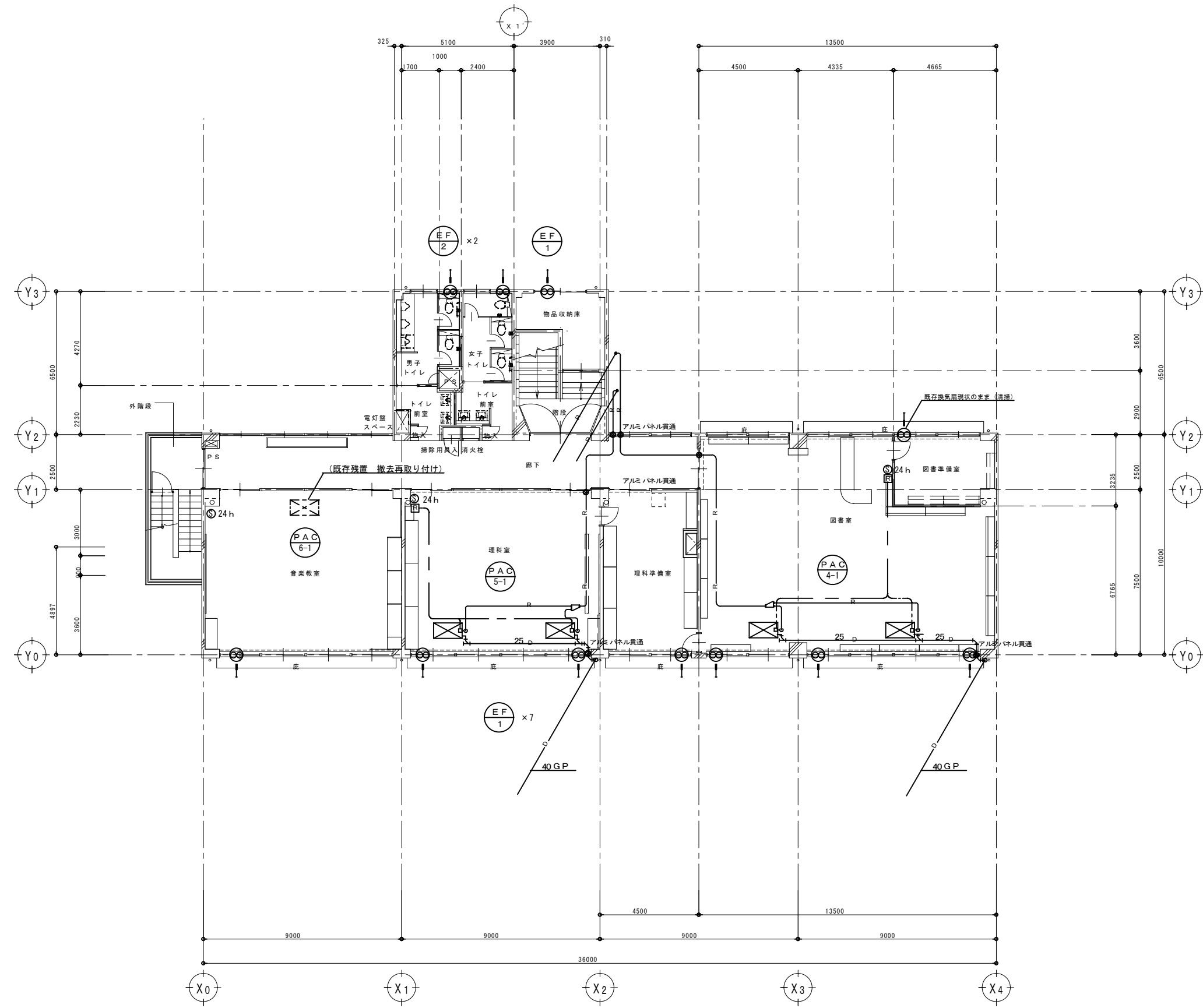
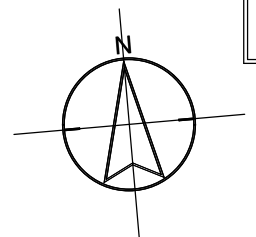
凡例			
記号	名称	備 考	備考
— R —	冷媒管	冷媒用保温付被覆銅管 連絡配線 EM-EFF2.0□-3C 共巻き	
— D —	ドレン管	保温機能付空調用ドレン管 (EADAC'w'n'イ'相当品)	屋内
— D —	ドレン管	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)	屋外
RS	リモコン	配線共 EM-GEES□1.25-2C 立下げ露出部: MM-A保護	
—	換気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト	
→ ⇒	パイプフード	ステンレス製 ギャリリ付 指定色焼付塗装	





2階 平面図 (改修後) S=1/100

改修後



3階 平面図 (改修後) S=1/100

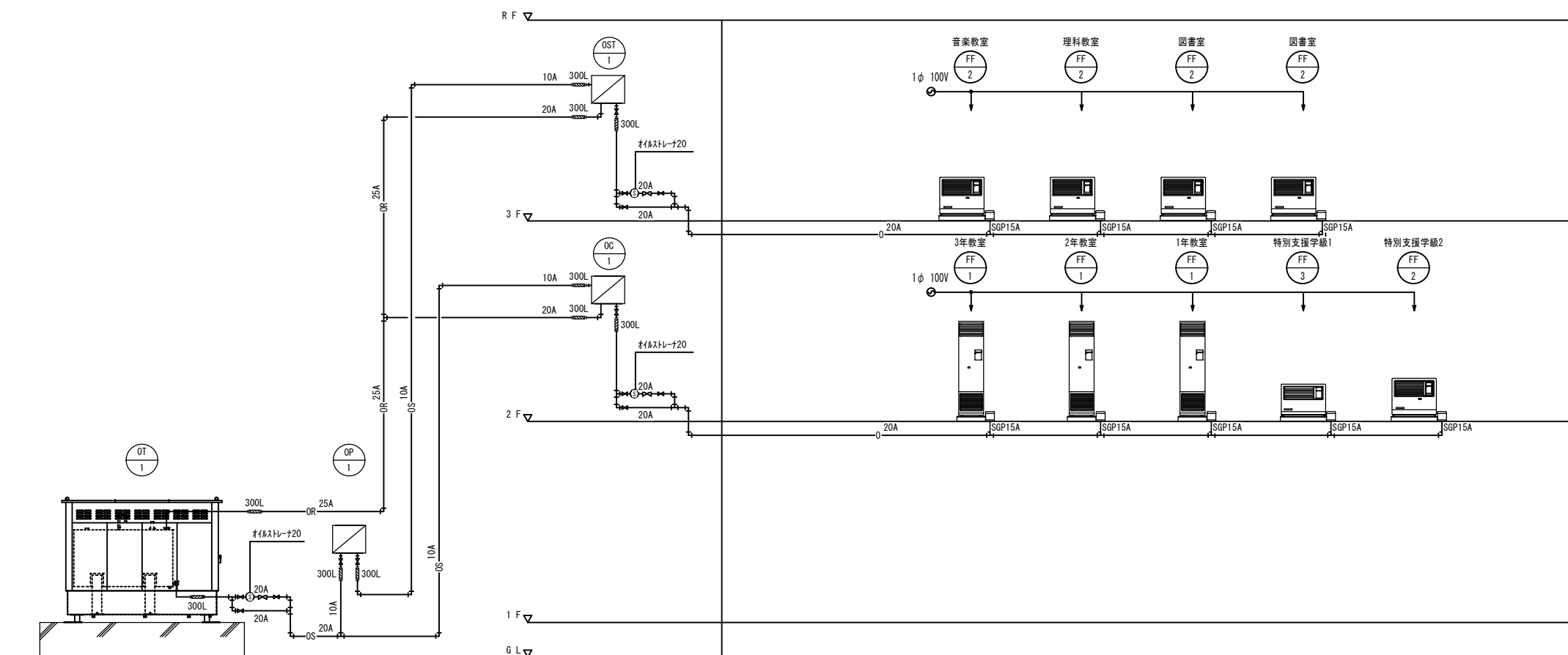
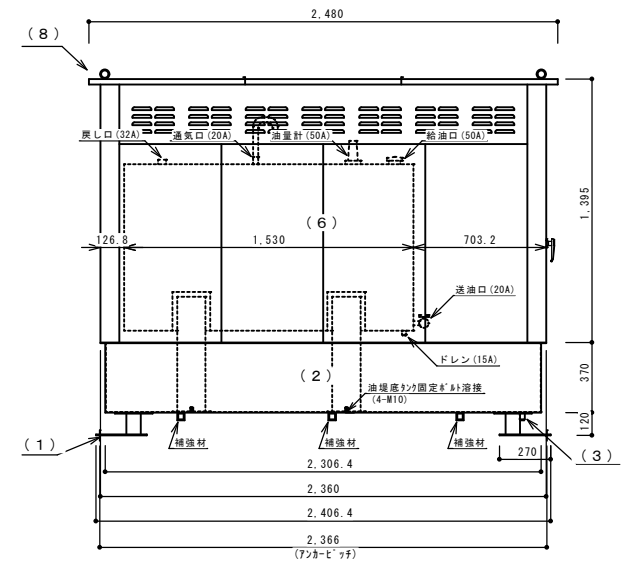
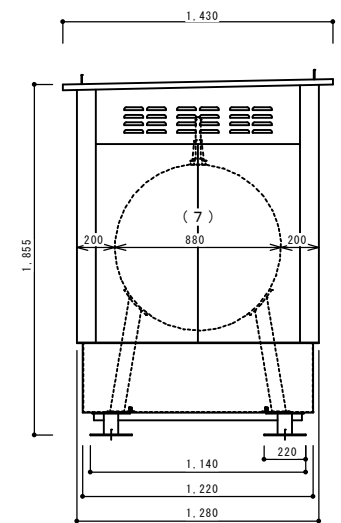
変更年月日	 ユニ・アート設計事務所 <small>UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD.</small>	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合 	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事 (再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-24
				図面名称	空気調和設備 3階 平面図 (改修後)	作成日	令和6年1月31日	

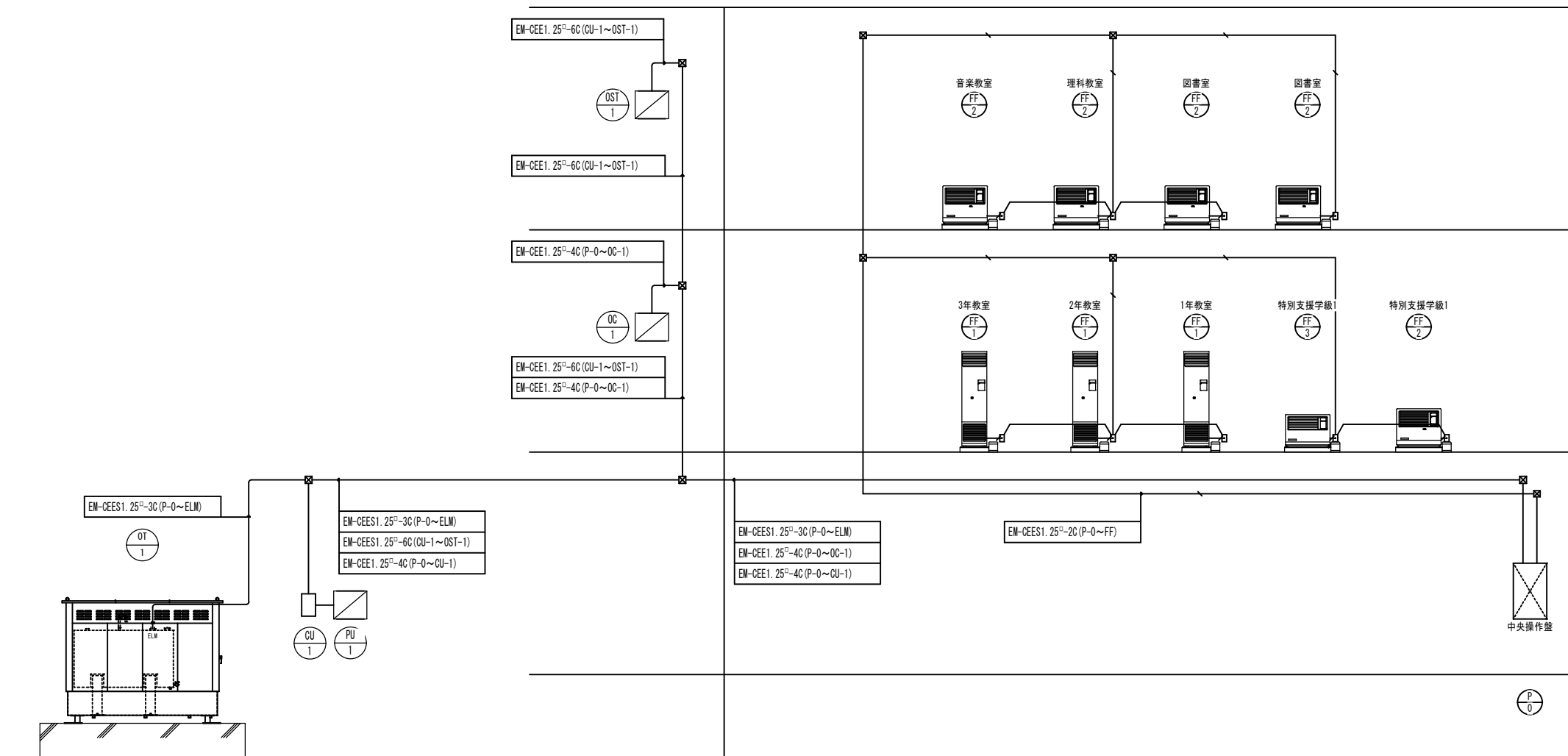
機器表

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量	備考
			φ	V	kW		
FF-1	FF式暖房機	床置型、灯油焚、防火性能認証品、タンク別置式、標準仕様 暖房能力：17.6kW(15,140kcal/h) 燃料消費量：1.966L 薄型給排気筒、給排気筒保護ガード※、背面カバー、ストーブ台 電磁弁付き給油バルブ FF-18000CTS(U)	1	100	0.138 0.615 0.615 点火時	3	2階 3台
FF-2	FF式暖房機	床置型、灯油焚、防火性能認証品、タンク別置式、標準仕様 暖房能力：15.9kW(13,700kcal/h) 燃料消費量：1.8L 薄型給排気筒、給排気筒保護ガード※、背面カバー、ストーブ台 電磁弁付き給油バルブ FF-15000GBF(U)	1	100	0.085 0.074 0.074 点火時	5	3階 4台 2階 1台
FF-3	FF式暖房機	床置型、灯油焚、防火性能認証品、タンク別置式、標準仕様 暖房能力：11.0kW(9,460kcal/h) 燃料消費量：1.233L 薄型給排気筒、給排気筒保護ガード※、背面カバー、ストーブ台 電磁弁付き給油バルブ FF-11000BF(U)	1	100	0.058 0.122 0.122 点火時	1	2階 1台
P-0	中央操作盤	壁掛型 幅600mm×高さ1,200mm×奥行250mm 15型タッチパネルディスプレイ 集中制御ユニット 給油監視ユニット(油タンク液面指示計×1面、 各階オイルキャリアー満油・減油・感震器警報表示)	1	100		1	


機器表

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量	備考
			φ	V	kW		
OT-1	オイルタンク	容積 917L 容量 830L 防油堤容量 1,024L 小出しバルブセット 一式 Z-1000				1	
OC-1	オイルキャリアー	屋外設置、格納箱共 仕様 吸上能力 60L/h(揚程8m時) 容積 2.8L 使用時最大容積 2.5L 付属品 付属品一式 OC-801	1	100	90VA	1	2階設置
PU-1	ポンプユニット	供給能力 供給高さ25m時 吐出量30L/h(吸い上げ揚程揚程5m時) 付属品 付属品一式 OC-PU-411	1	100	200VA	1	1階設置
OST-1	戸別タンクユニット	貯蔵容量 2.7L 付属品 付属品一式 OC-PT-411				1	3階設置
CU-1	コントロール ユニット	付属品 付属品一式 OC-CU-411	1	100	20VA	1	1階設置





変更年月日	

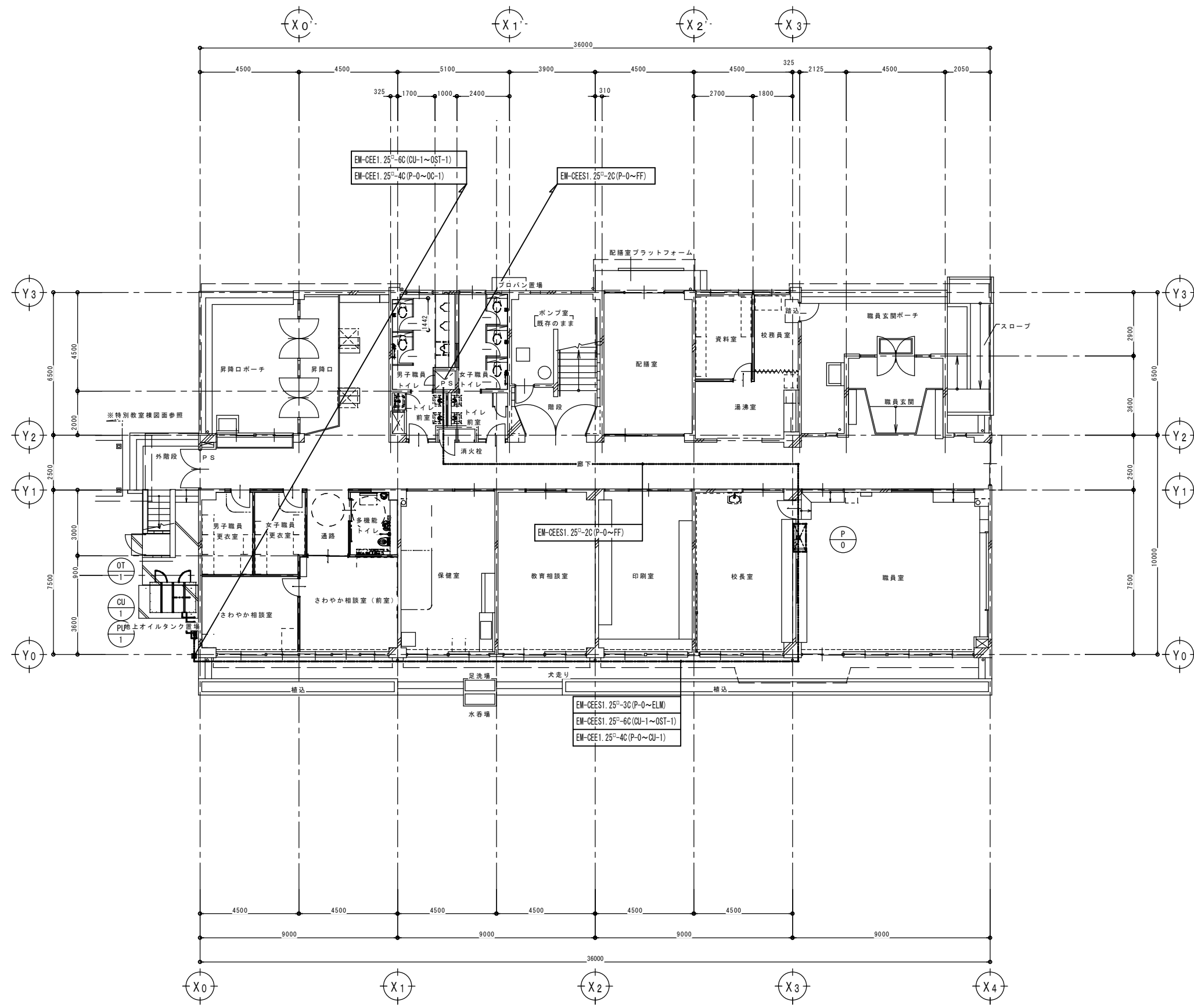
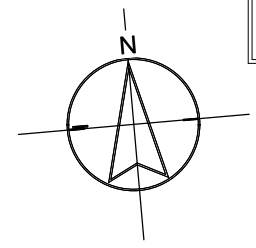

ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD

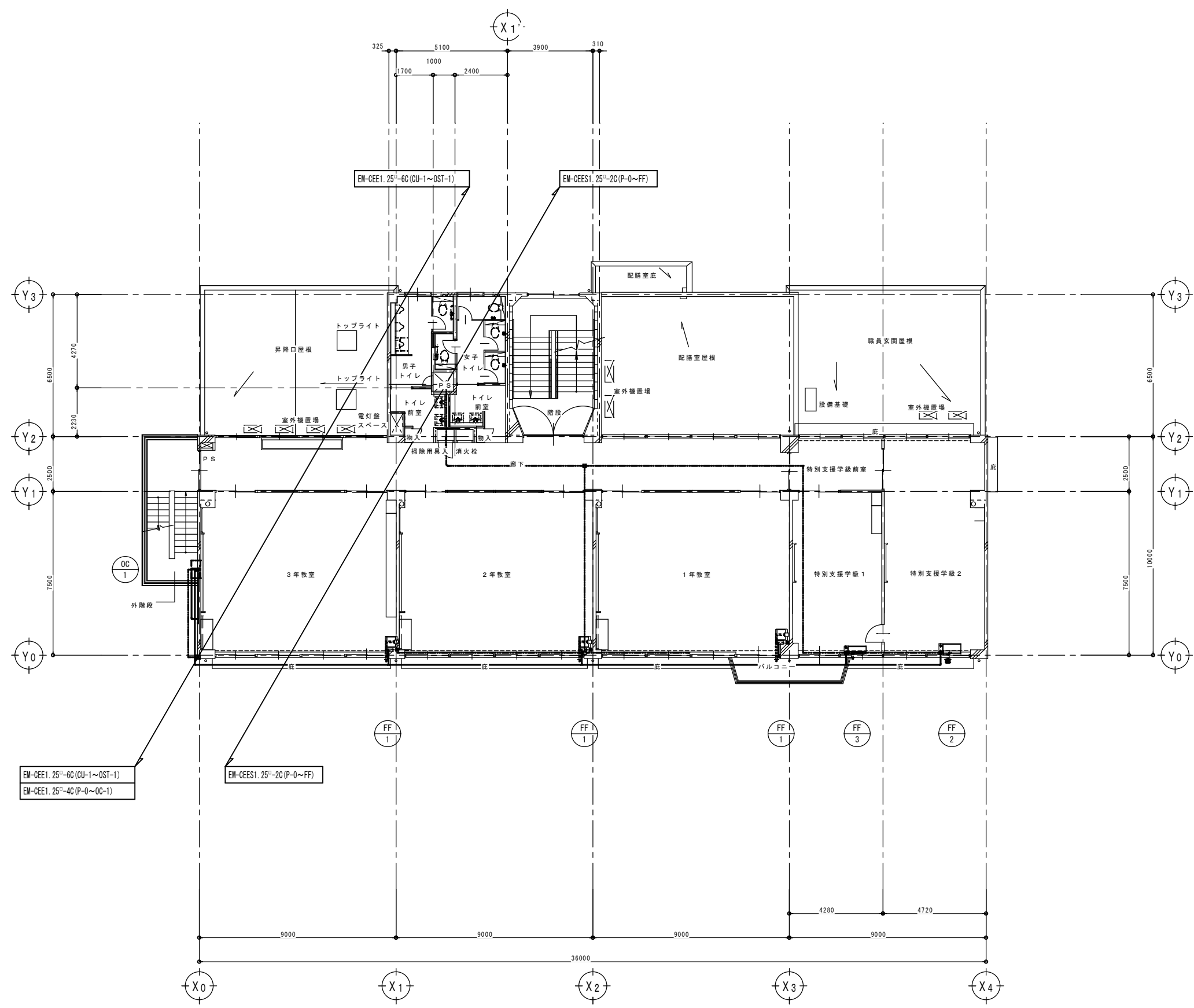
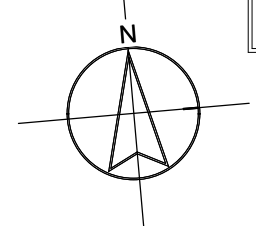
一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

承認	設計	製図	照合

工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)
図面名称	暖房設備 計装系統図 (改修後)

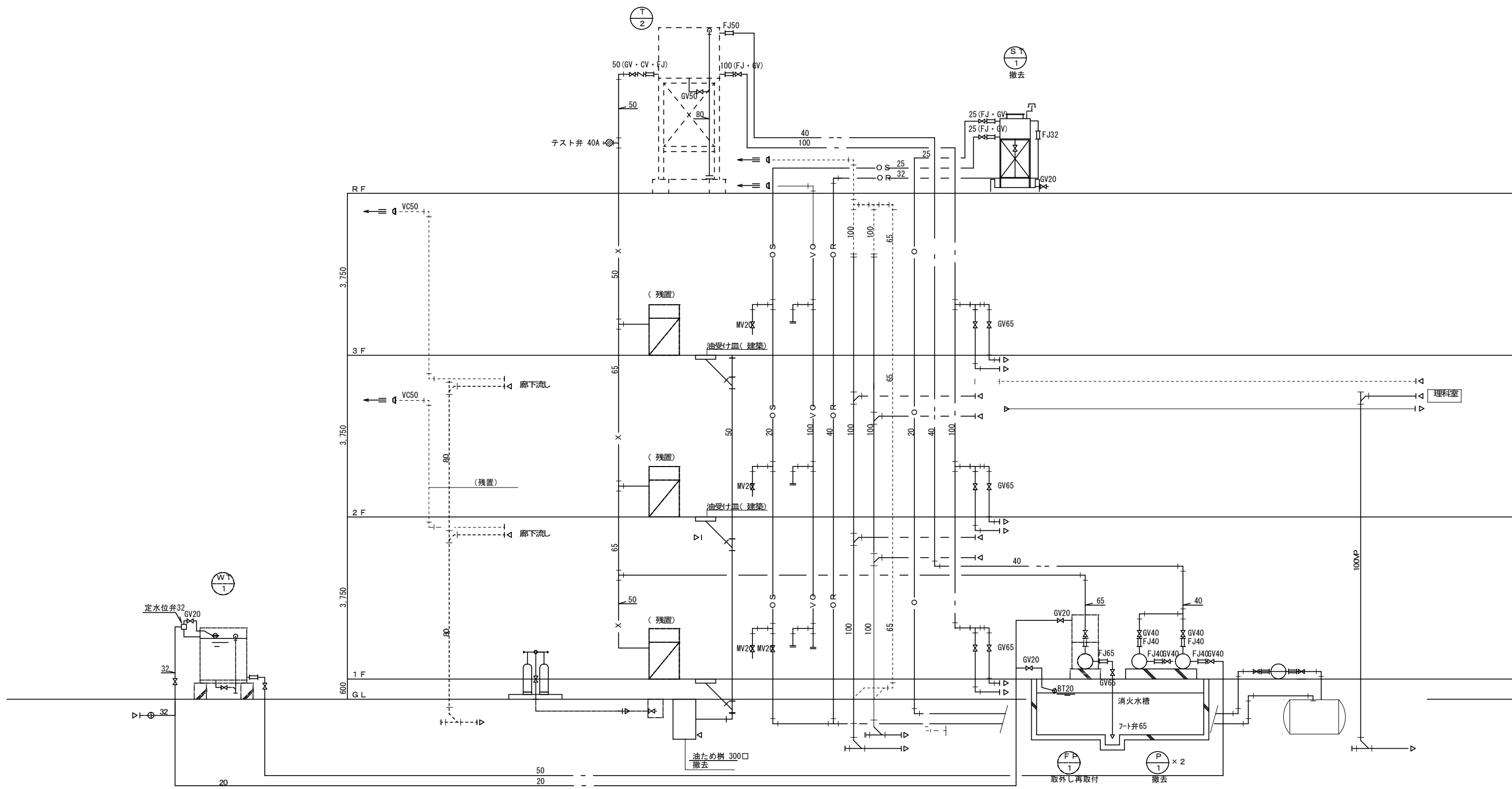
縮尺	
作成日	令和 6年 1月 31日





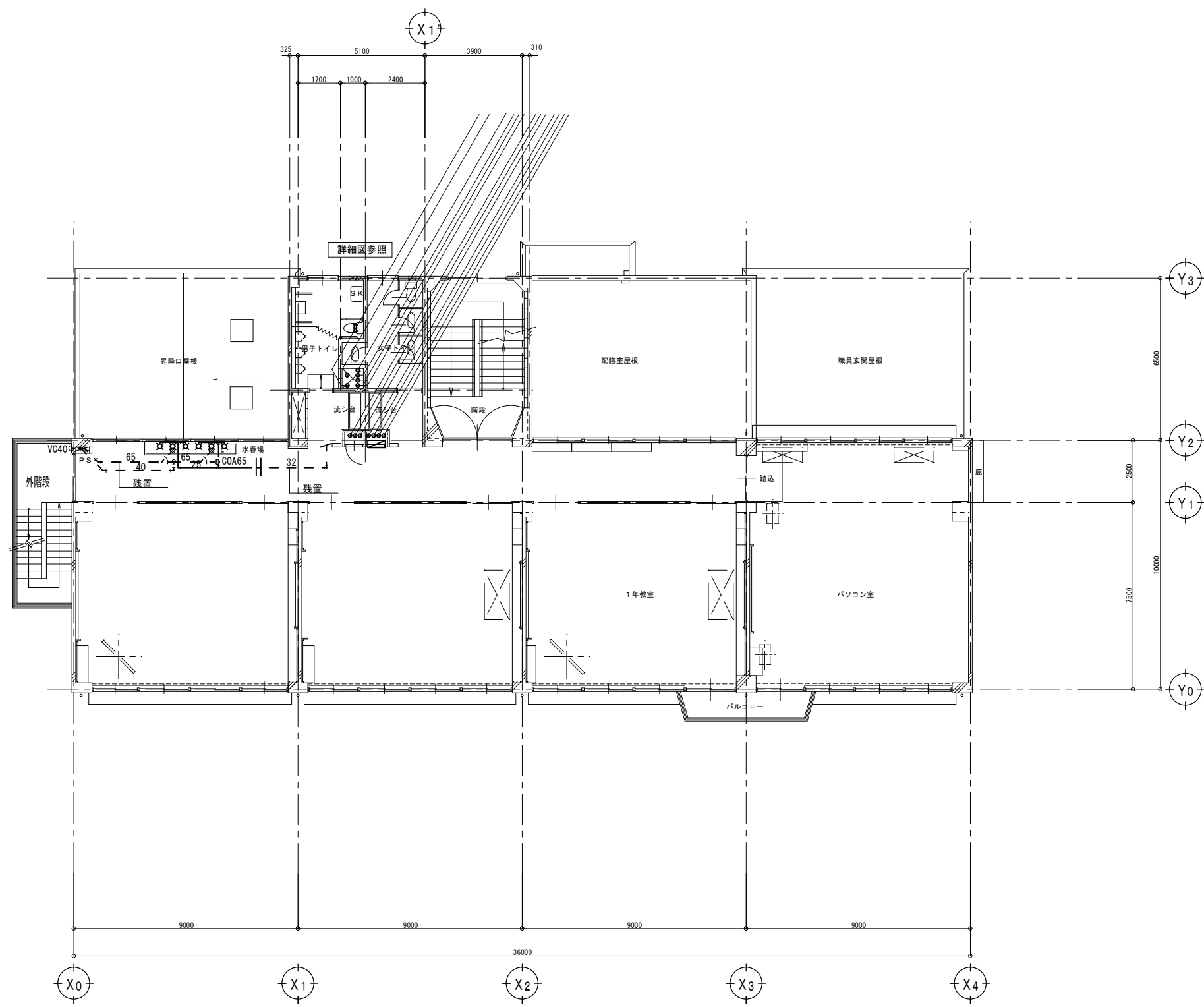
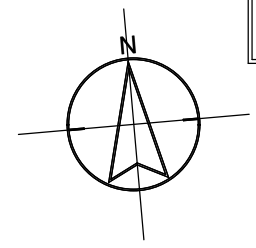
2階 平面図 (改修後) S=1/100

変更年月日	ユニ・アート設計事務所 <small>UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD</small>	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合	工事名称 大田中学校校舎大規模改修工事(再1)	縮尺 A1: S=1/100
			図面名称 暖房設備 2階平面図(改修後)	作成日 令和6年1月31日	A3: S=1/200

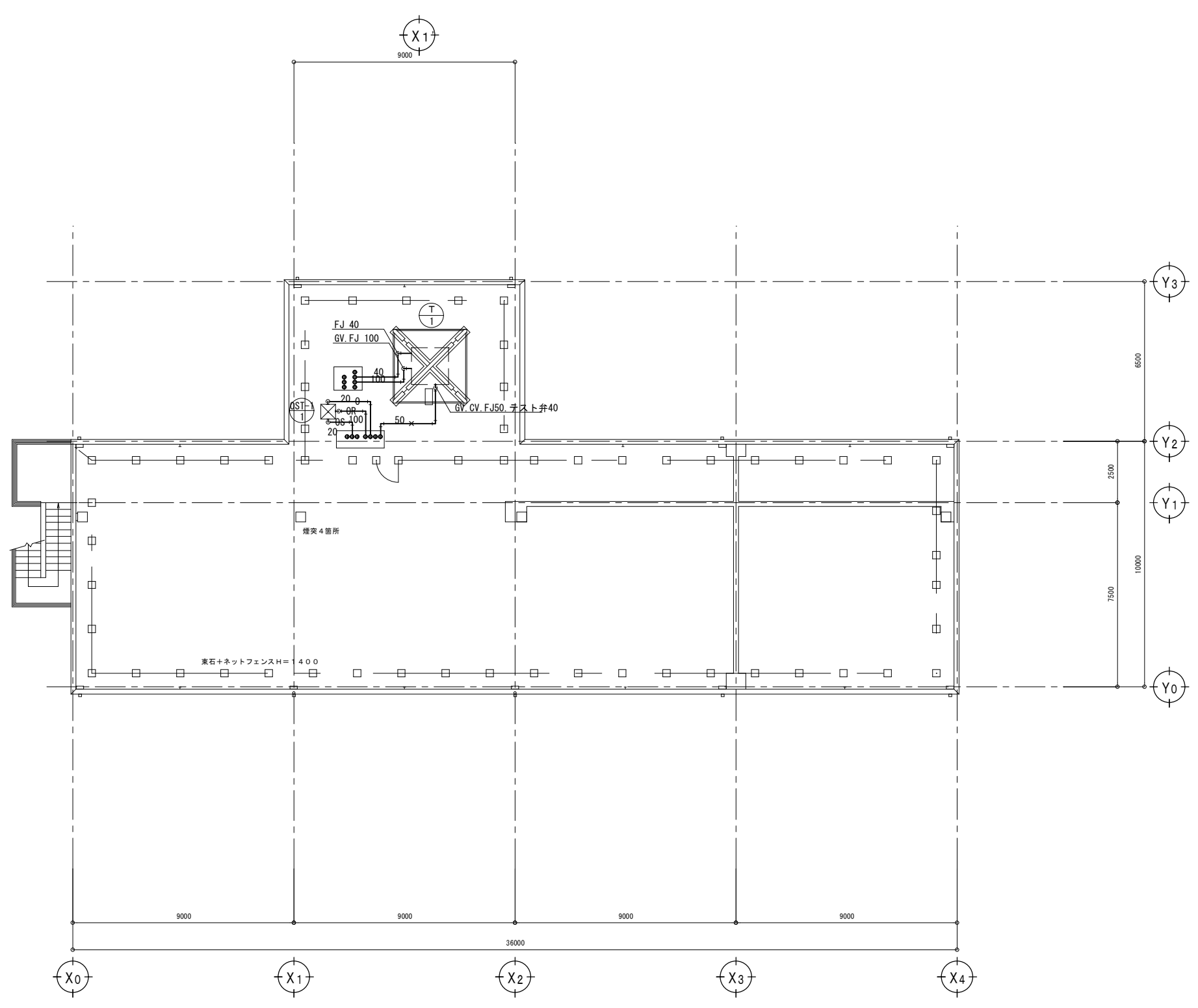
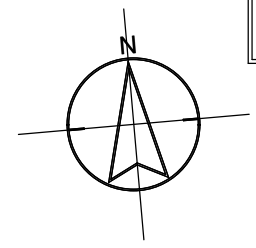


凡例	
	既設配管を示す
	撤去配管を示す
	不要残置配管を示す
	既設管切断を示す

改修前 給排水衛生設備 系統図

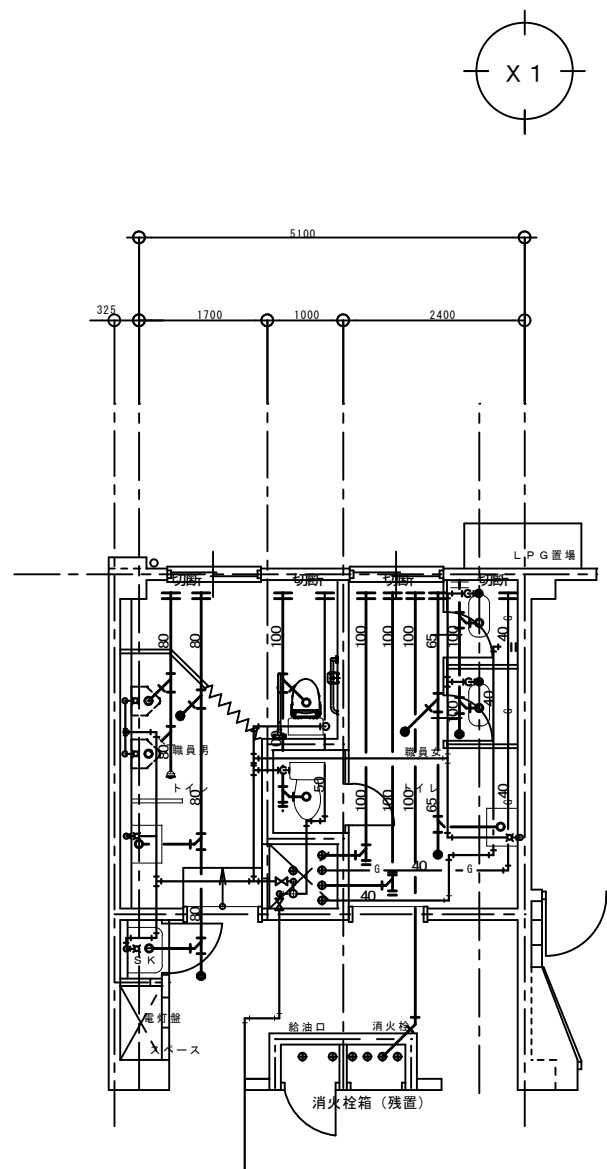


2階 平面図 (改修前) S=1/100

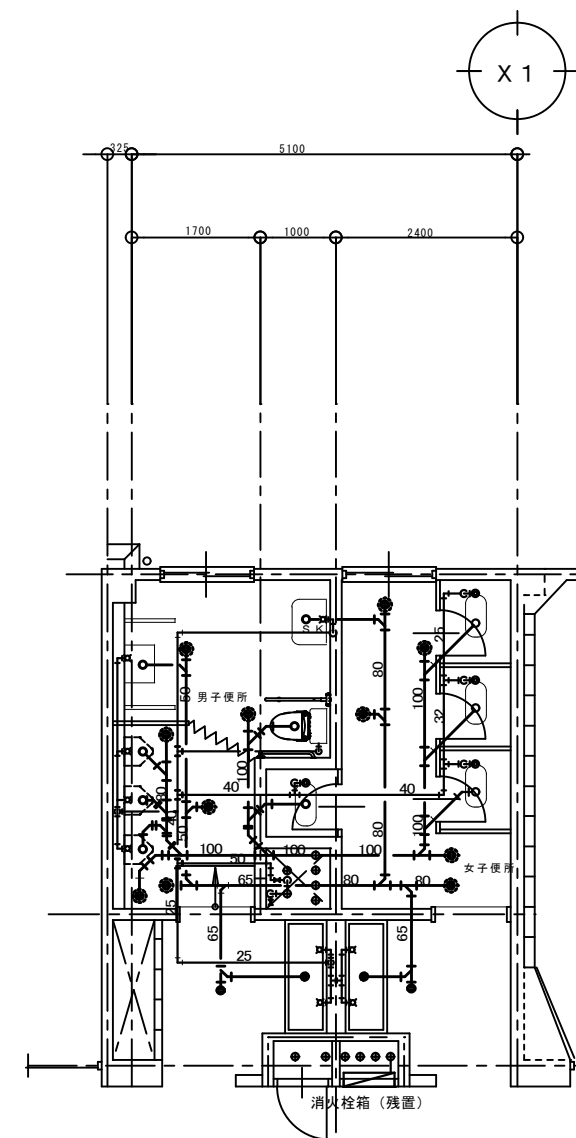


屋根伏図 (改修前) S=1/100

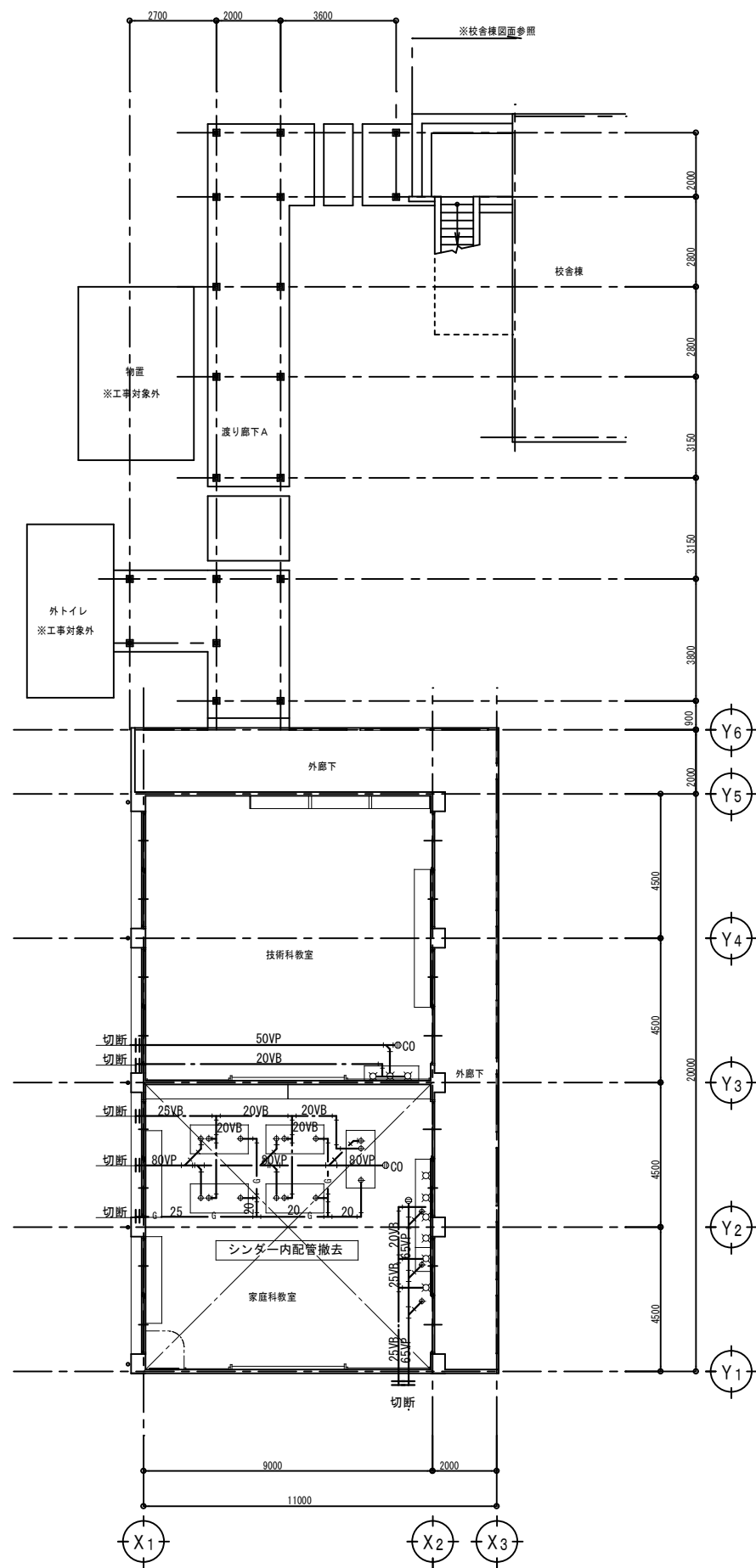
変更年月日	(株) ユニ・アート設計事務所 UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合 	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-38
				図面名称	給排水衛生設備 R階 平面図(改修前)	作成日	令和6年1月31日	



1階 便所詳細図 S=1:50 (改修前)



2. 3階 便所詳細図 S=1:50 (改修前)



特別教室棟・渡り廊下A 1階平面図 (改修前) S=1/100

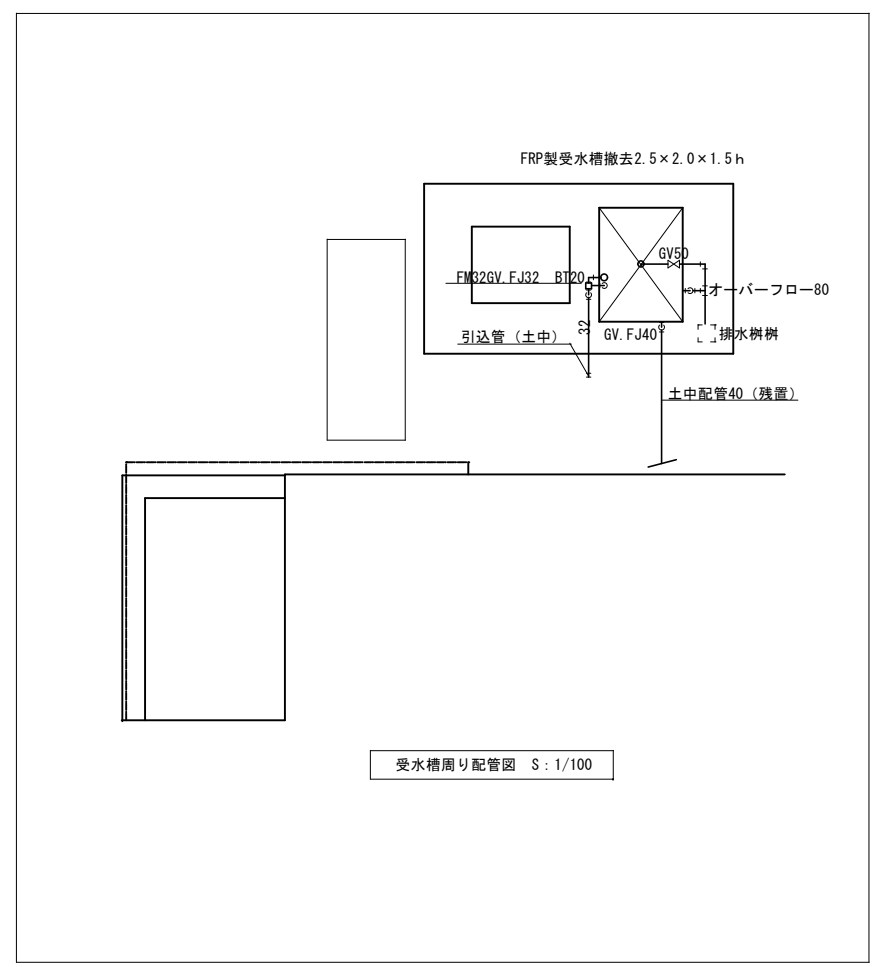
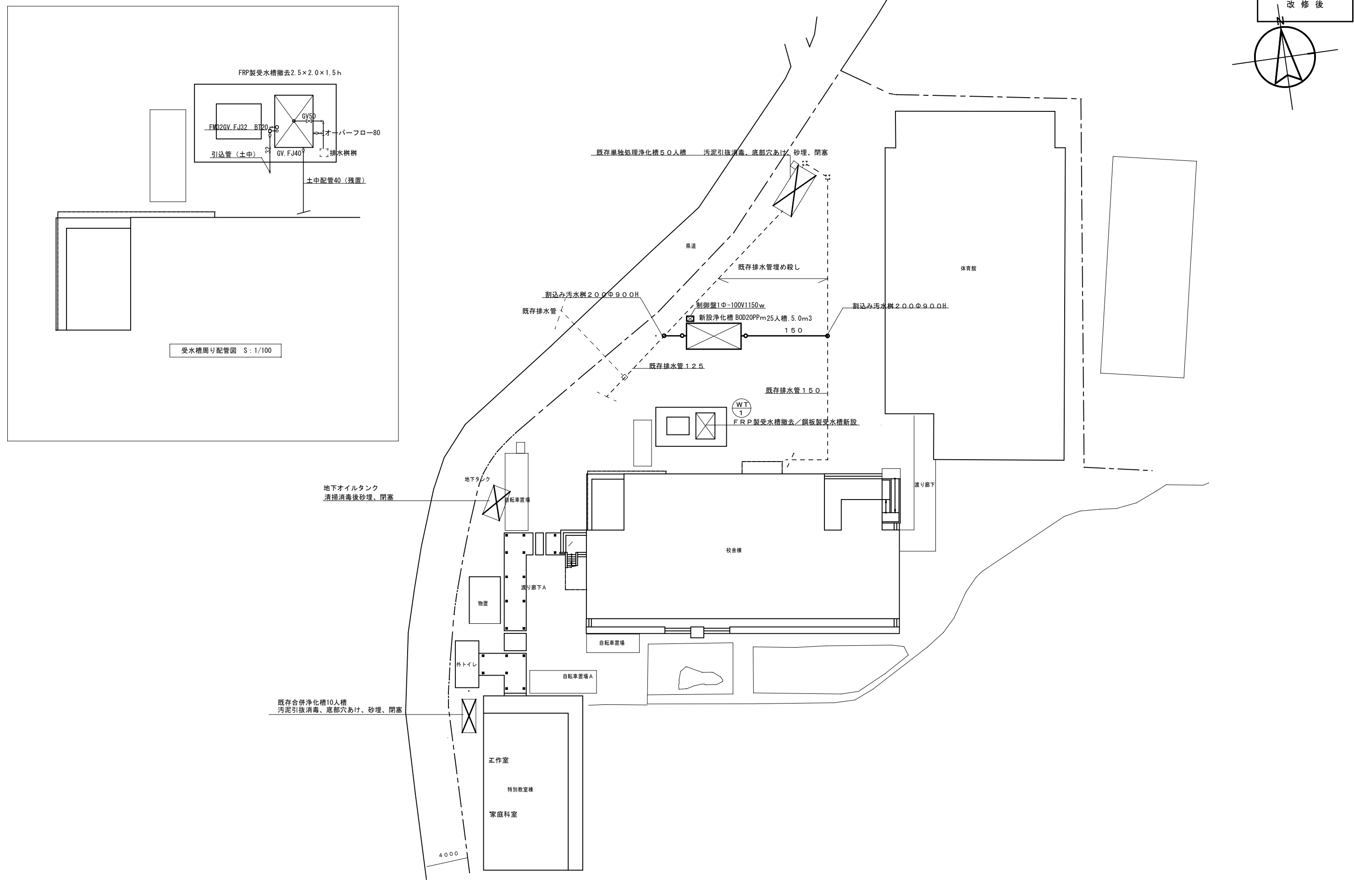
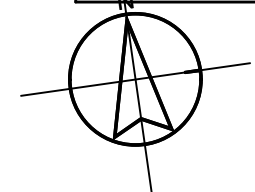
変更年月日	
作成日	


ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., Ltd.
 一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

承認	設計	製図	照合

工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事 (再1)
図面名称	特別教室棟・渡り廊下A 1階平面図、屋根伏図 (改修前)

縮尺	A1: S=1/100
	A3: S=1/200
作成日	令和6年1月31日



地下オイルタンク
清掃消毒後砂埋、閉塞

地下タレク

既存合併浄化槽10人槽
汚泥引抜消毒、底部穴あけ、砂埋、閉塞

変更年月日	
図面名称	給排水衛生設備 受水槽周り配管図

ユニ・アート設計事務所
UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD

一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号
一級建築士 大臣登録107385 小室 公一

承認	設計	製図	照合

工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)
図面名称	給排水衛生設備 受水槽周り配管図

縮尺	A1: S=1/200	M-41
	A3: S=1/400	
作成日	令和 6年 1月 31日	

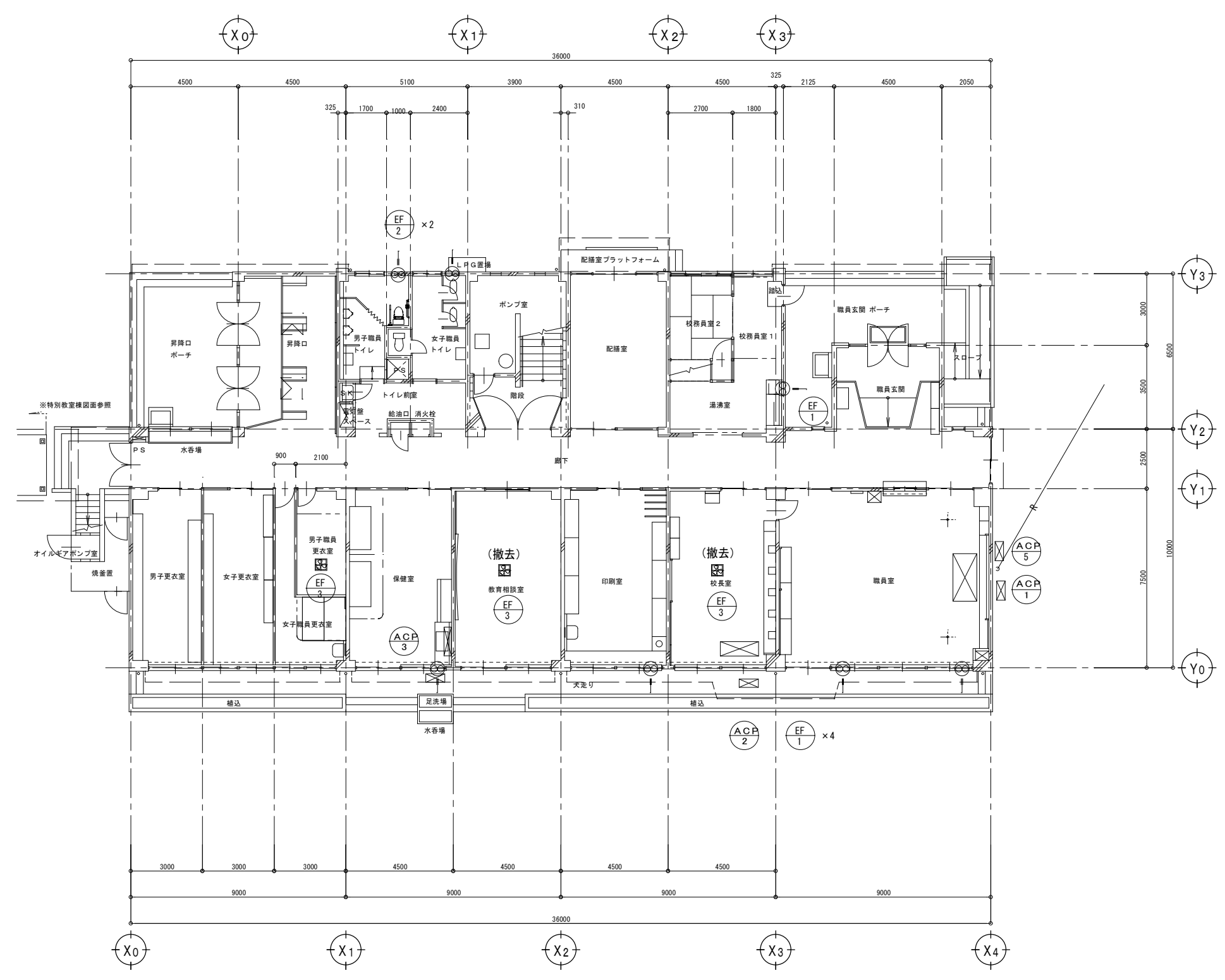
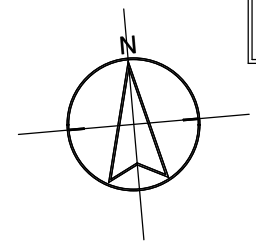
機器表

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			校舎棟		特別教室棟		参考型番	備考
			KW	相	電圧	台数	設置場所	台数	設置場所		
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル (再使用) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 圧縮機 (外) 3.08KW 送風機 (内) 0.150KW (外) 0.186KW 付属品 ワイヤードリモコン、他一式		3	200	1	1F 職員室			SZRH160BJ	
ACP-2	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル (再使用) 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 圧縮機 (外) 1.7KW 送風機 (内) 0.091KW (外) 0.070KW 付属品 ワイヤードリモコン、他一式		3	200	1	1F 校長室			SZRH80BT	
ACP-3	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル (撤去移設 校務員室へ) 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5.0KW 圧縮機 (外) 0.92KW 送風機 (内) 0.060KW (外) 0.070KW 付属品 ワイヤードリモコン、他一式		3	200	1	保健室			SZRH50BT	
ACP-4	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 ツイン同時エアコン 冷房能力 20KW 暖房能力 22.4KW				1	パソコン室				
ACP-5	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 ツイン同時エアコン 冷房能力 4.5KW+3.2KW				1	さわやか相談室				
ACP-6	空冷ヒートポンプエアコン	天吊露出形 標準シングル 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW		3	200	1	3F 図書室				
EF-1	換気扇	格子タイプ (窓枠取付タイプ)、電気式シャッター・遠隔付 30cm x (強 1.22m ³ /h、弱 645m ³ /h) 付属品 強弱スイッチ、SUS製カバー (防鳥網付)、他一式	0.04	1	100	12	1F 職員室×2 1F 印刷室 1F 保健室 1F 湯沸室 3F 理科室×2 3F 理科準備室 3F 図書室×2 3F さわやか相談室×2	4	1F 美術室×2 1F 家庭科室×2	EX-30SC4 P-043ML2	
EF-2	換気扇	スタンダードタイプ、電気式シャッター 25cm x 690m ³ /h 付属品 SUS製カバー (防鳥網付)、他一式	0.0155	1	100	6	1F 職員男子、女子トイレ 2F 男子、女子トイレ 3F 男子、女子トイレ			EX-25SC4-S	
EF-3	天井扇	低騒音形 サニタリー用 150φ x 210m ³ /h x 60Pa	0.026	1	100	3	1F 男子更衣室 1F 教育相談室 1F 校長室			VD-18ZB12	

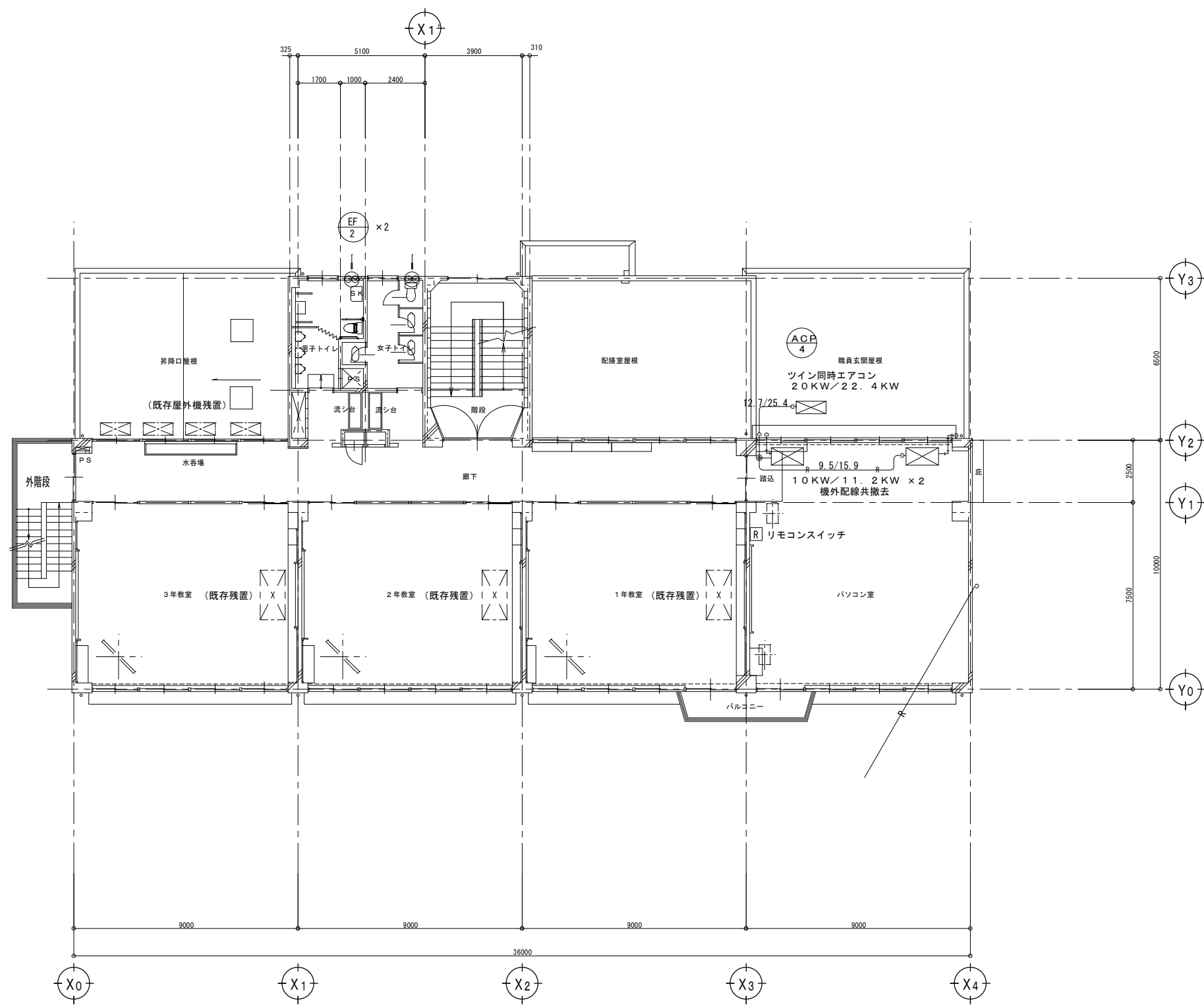
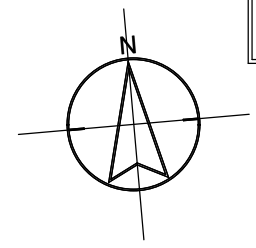
凡例

記号	名称	備 考	備考
—R—	冷媒管	冷媒用保温付被覆銅管 連絡配線 EM-EF2.0□-3C 共巻き	
—D—	ドレン管	保温機能付空調用ドレン管 (100A01' 1/2" 相当品)	屋内
—D—	ドレン管	排水用硬質塩化ビニル管 (VP)	屋外
RS	リモコン	配線共 EM-GES□1.25-2C 立下げ露出部：MM-A保護	
—	換気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト	
→⇒	パイプフード	ステンレス製 ギャラリ付 指定色焼付塗装	

改修前

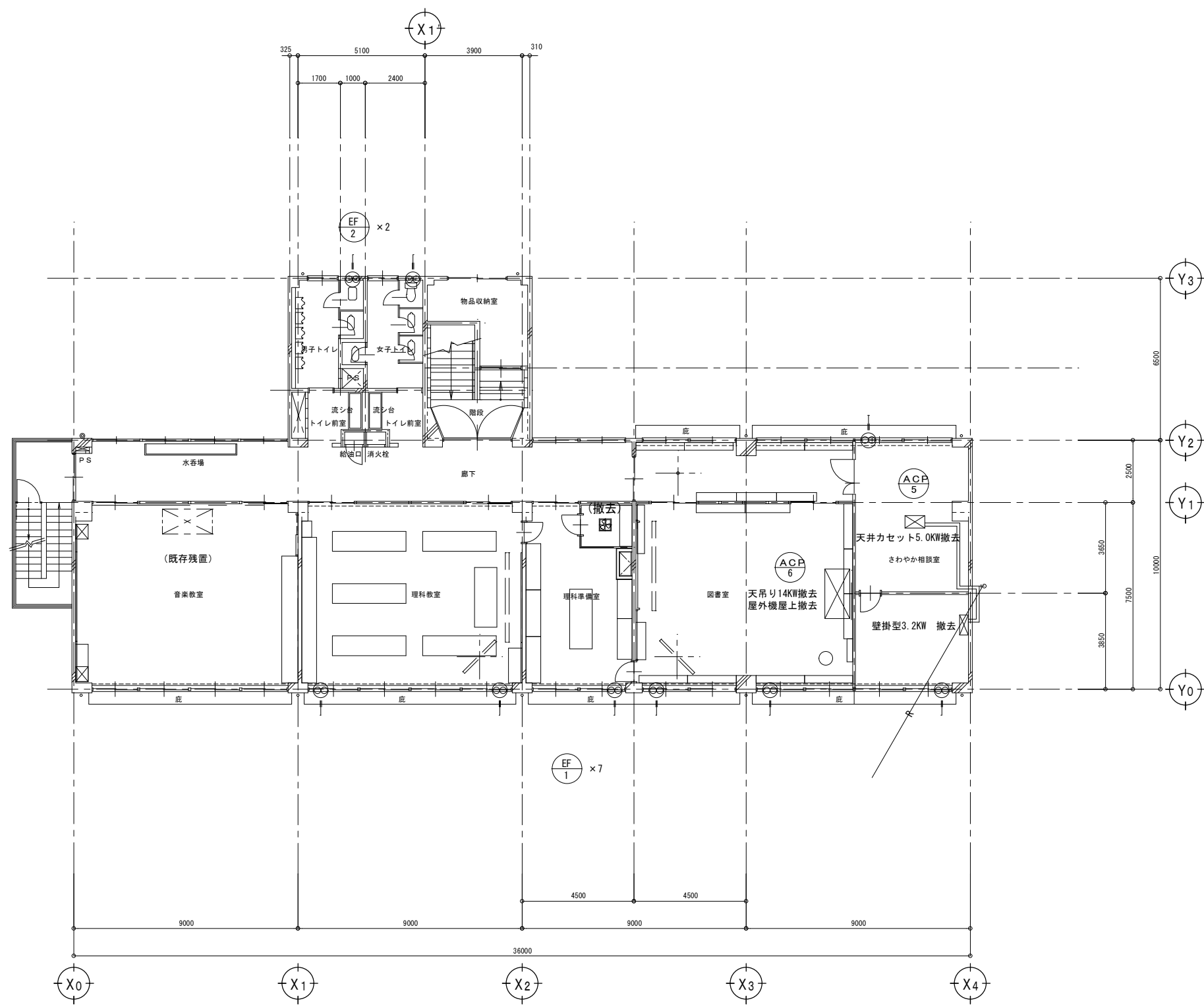
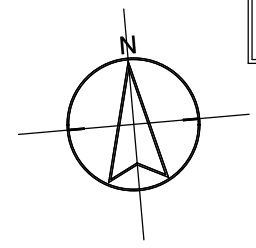


1階 平面図 (改修前) S=1/100



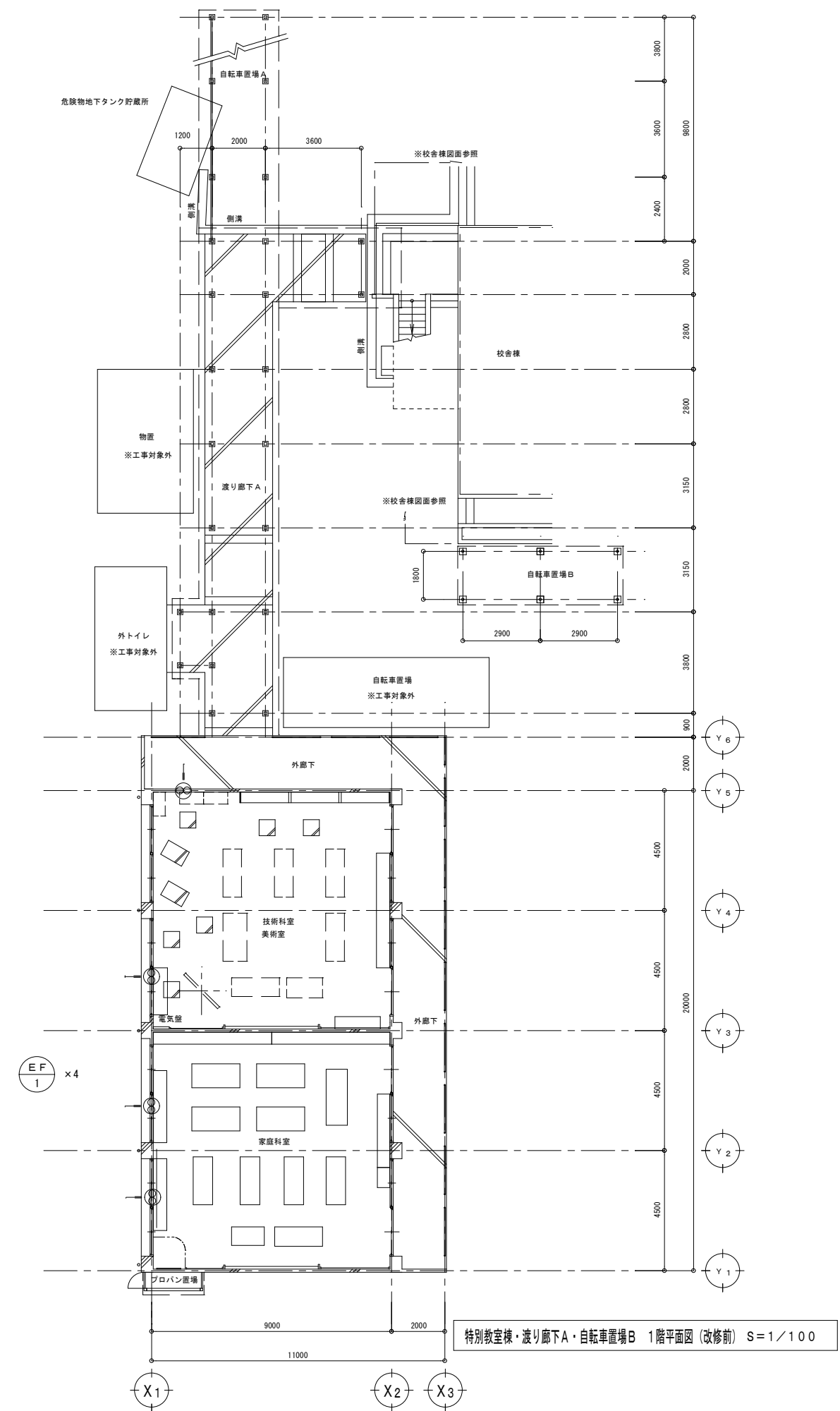
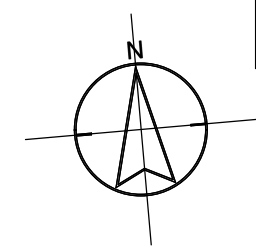
2階 平面図 (改修前) S=1/100

変更年月日	(株) ユニアート設計事務所 UNI-ART-PLAN OFFICE Co., Ltd.	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合 	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事 (再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-44
				図面名称	空調設備 2階 平面図 (改修前)	作成日	A3: S=1/200	



3階 平面図 (改修前) S=1/100

変更年月日	(株) ユニ・アート設計事務所 UNI-ART-PLAN OFFICE Co., LTD	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号 一級建築士 大臣登録107385 小室 公一	承認 設計 製図 照合 	工事名称	大田中学校校舎大規模改修工事(再1)	縮尺	A1: S=1/100	M-45
				図面名称	空調設備 3階 平面図(改修前)	作成日	A3: S=1/200	



特別教室棟・渡り廊下A・自転車置場B 1階平面図(改修前) S=1/100

変更年月日	ユニ・アート設計事務所 UNI-ART-PLAN OFFICE-Co. LTD	一級建築士事務所 埼玉県知事登録第(12)211号	承認	設計	製図	照合	工事名称	縮尺	M-46	
		一級建築士 大臣登録107385 小室公一					大田中学校校舎大規模改修工事(再1)	A1: S=1/100 A3: S=1/200		
								図面名称	作成日	
								空調設備 特別教室棟平面図(改修前)	令和6年1月31日	